

---

# 江北町 個別施設計画

---

学校教育系施設 編



令和3年3月

佐賀県 江北町

# 目 次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
(1) 背景	1
(2) 目的	1
(3) 計画期間	1
(4) 対象施設	2
2. 学校施設の目指すべき姿	3
3. 学校施設の実態	4
(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	4
①対象施設一覧	4
②児童生徒数・学級数・職員数の変化	4
③学校施設の配置状況	5
④施設関連経費の推移	9
⑤学校施設等の保有量	10
⑥築年別整備状況	11
⑦今後の維持・更新コスト（従来型）	11
(2) 学校施設の老朽化状況の実態	12
①構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	12
4. 学校施設整備の基本的な方針等	54
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針	54
①学校施設の長寿命化計画の基本方針	54
②学校施設の規模・配置計画等の方針	55
(2) 改修等の基本的な方針	56
①長寿命化の方針	56
②目標使用年数、改修周期の設定	56
5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等	57
(1) 改修等の整備水準	57
(2) 維持管理の項目・手法等	57
6. 長寿命化の実施計画	58
(1) 改修等の優先順位付けと実施計画	58
(2) 長寿命化コストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～	59
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	61
(1) 情報基盤の整備と活用	61
(2) 推進体制等の整備	61
(3) フォローアップ	61

# 1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

## (1) 背景

全国的に公共施設ならびにインフラの老朽化対策が、大きな課題となっています。公共施設については、全国的な人口減少基調と、少子高齢化に伴う年齢層の変化等により、どの自治体も今後の利用需要の変化が予想されることに加え、過去に建設された施設が、これから大量に更新時期を迎える一方で、財政は依然として厳しい状況にあります。

江北町においても、全国の多くの自治体同様、様々な課題を抱えているところです。そこで平成 29 年度に「江北町公共施設等総合管理計画（以下、管理計画）」を策定しました。

本書は、その管理計画を上位計画とする個別施設計画となり、各施設類型における基本方針・施設の再配置計画などをとりまとめたものです。

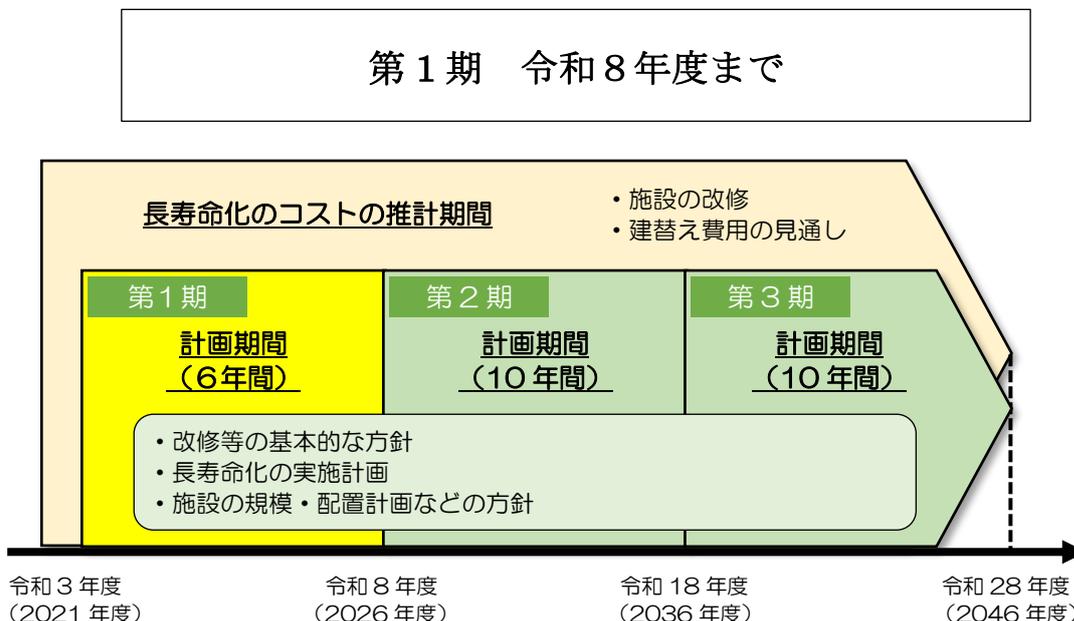
## (2) 目的

本計画は、平成 27 年 3 月 31 日付け文部科学省が策定した「インフラ長寿命化計画（行動計画）」及び同省の取りまとめによる「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）を参考とし、「総合管理計画」との整合性に留意しながら、教育施設の長寿命化を図るための基本的な方針や実施内容を示した内容を実施計画としてとりまとめ、長寿命化計画を作成することを目的とする。

## (3) 計画期間

本計画は、管理計画の具体的な実施計画であるため、計画期間は、平成 29 年度から令和 28 年度までの 30 年間を見通したうえで、計画の第 1 期を平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年間とします。

但し、第 1 期目については、令和 2 年度に策定するため、令和 3 年度から令和 8 年度までの 6 年間となります。



### (4) 対象施設

本計画の対象施設は、以下の施設とします。

図表 対象分類（公共施設等総合管理計画の分類）

大分類	対象施設
行政系施設	
学校教育系施設	小学校 中学校 給食センター
社会教育系施設	
スポーツ・レクリエーション系施設	
保健・福祉施設	
子育て支援施設	幼児教育センター 幼稚園
産業系施設	
町営住宅	
公園	
その他	

図表 対象施設

施設名	所在地
小学校	江北町大字山口 1128 番地
中学校	江北町大字山口 412 番地
幼児教育センター 幼稚園	江北町大字山口 1153 番地
給食センター	江北町大字山口 1114 番地



## 2. 学校施設の目指すべき姿

これからの将来を担っていく児童・生徒が日々を過ごす施設であることから、ICT教育の導入等の学習環境の変化や少子化等の社会環境の変化に対応するために計画的な改修を行い、安全・安心で快適な教育環境を実現します。具体的な目指す姿は次のとおりであり、既に学校施設が担っている姿でもあることから、改修等の実施時には、このことを念頭に入れて、整備に努めます。

### <目指す姿>

#### (1) 安全性

##### ①災害対策

- ①-1 地震に強い教育施設
- ①-2 防災機能を備えた教育施設

##### ②防犯・事故対策

- ②-1 安全で安心な教育施設

#### (2) 快適性

##### ①快適な施設環境

- ①-1 児童生徒の学習能率の向上につなげるため、また生涯学習やスポーツ活動に資するための快適な環境
- ①-2 十分な施設面積を確保した、ゆとりある学習環境

#### (3) 学習活動への適応性（学校教育）

##### ①個々に応じた指導の推進

- ①-1 習熟度別指導や少人数指導などを行うための空間

##### ②教育教材等の充実

- ②-1 充実した観察・実験を行うための教材の充実
- ②-2 学習効果を高めるためのICT環境整備

##### ③小中連携の充実

- ③-1 よりよい教育環境の確保と今後の人口減少への対応

#### (4) 地域の拠点化

- ① 地域活動の拠点となる教育施設
- ② 学校教育施設と社会教育施設の複合化

#### (5) 経済性

- ① 計画的・効率的な整備により経費を平準化・削減するための取組み

### 3. 学校施設の実態

#### (1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

##### ①対象施設一覧

図表 対象施設

令和2年5月1日現在

名称		住所	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
			通常学級	特別支援	通常学級	特別支援
小学校	小学校	江北町大字山口 1128 番地	556		18	7
中学校	中学校	江北町大字山口 412 番地	254		8	2
幼稚園	幼児教育センター 幼稚園	江北町大字山口 1153 番地	44		5	—
その他	給食センター	江北町大字山口 1114 番地	—		—	—

##### ②児童生徒数・学級数・職員数の変化

図表 児童・生徒数

(単位:人)

	これまでの推移(各年5月1日現在)								将来推計※			
	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
小学校	510	510	556	556	574	580	565	556	560	570	573	582
中学校	257	249	235	237	216	228	237	254	275	270	275	276
幼稚園	117	129	111	99	81	74	61	44	30	30	30	30
合計	884	888	902	892	871	882	863	854	865	870	878	888

図表 学級数

(単位:学級)

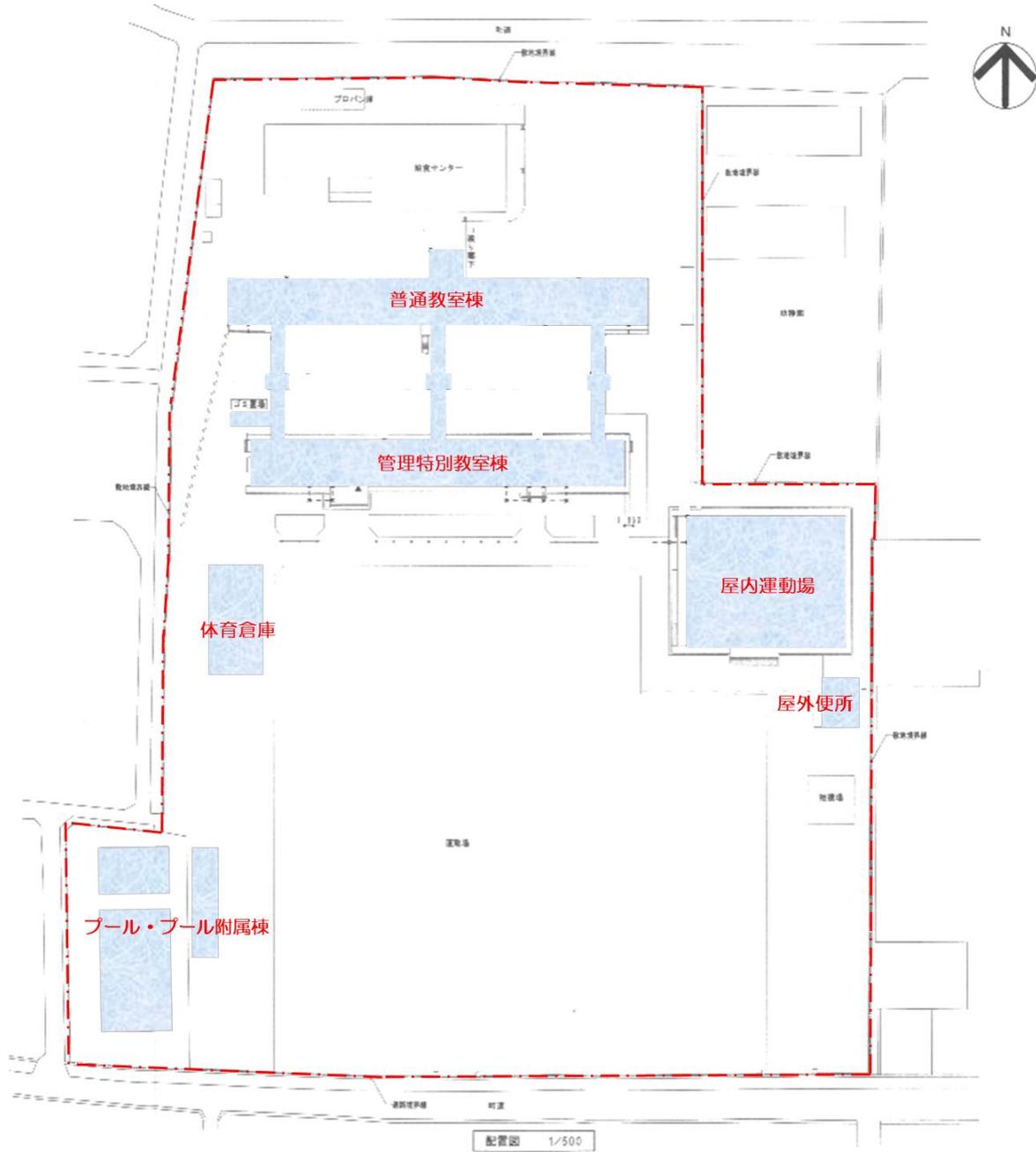
		これまでの推移								将来推計※			
		平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
小学校	通常	16	16	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18
	特別支援	3	3	4	4	4	4	5	7	7	7	7	7
中学校	通常	8	8	8	8	6	7	8	8	9	9	8	8
	特別支援	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3
幼稚園		5	5	5	4	4	3	3	5	3	3	3	3
合計		34	34	36	35	34	34	36	40	40	40	39	39

図表 職員数(人)

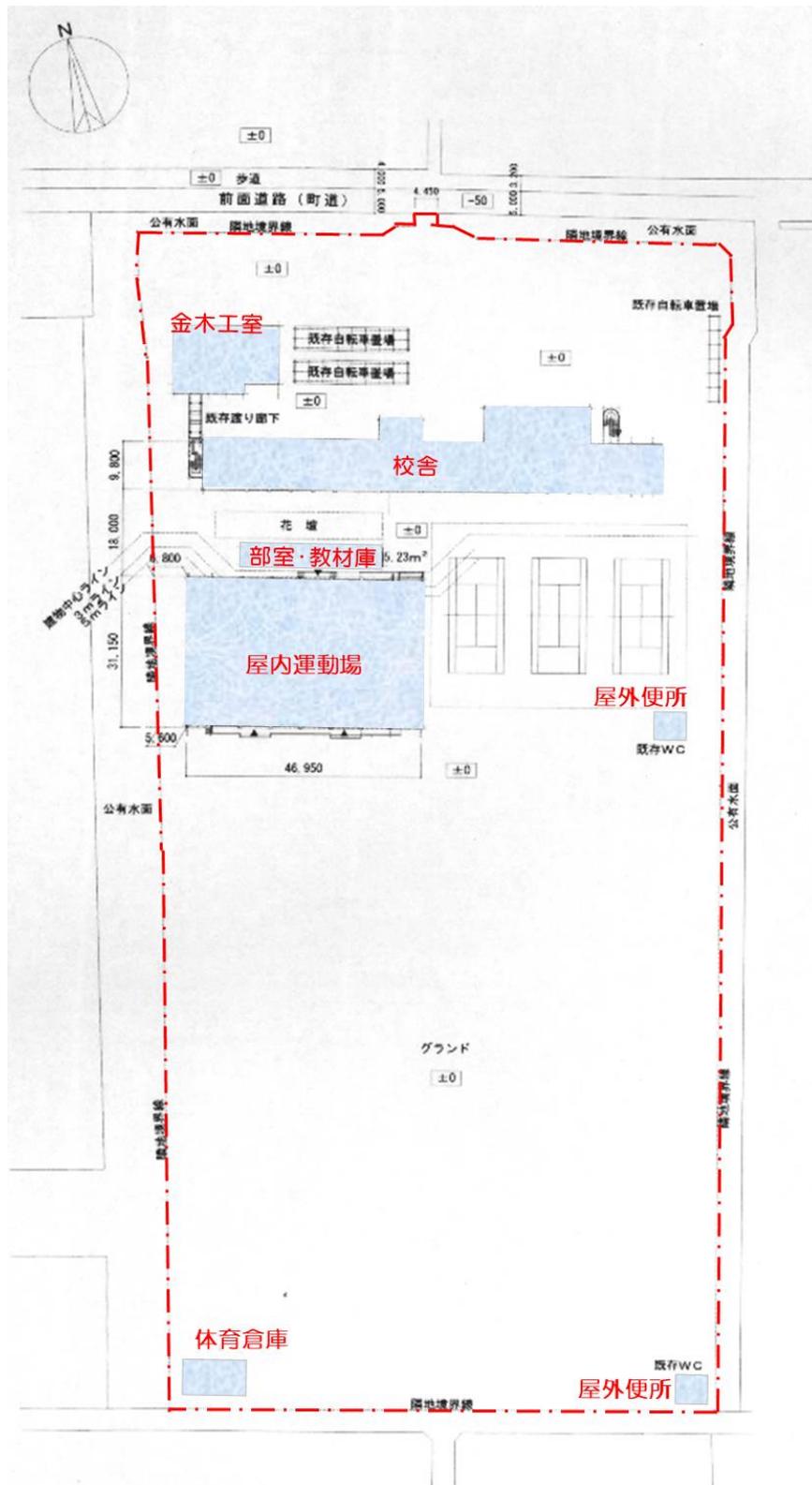
		これまでの推移(各年4月1日現在)								将来推計※			
		平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
小学校		33	35	38	35	33	34	35	38	38	38	38	38
中学校		21	21	21	21	19	21	23	26	28	28	28	28
幼稚園		6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合計		60	62	66	63	59	62	65	71	73	73	73	73

### ③学校施設の配置状況

#### <小学校>

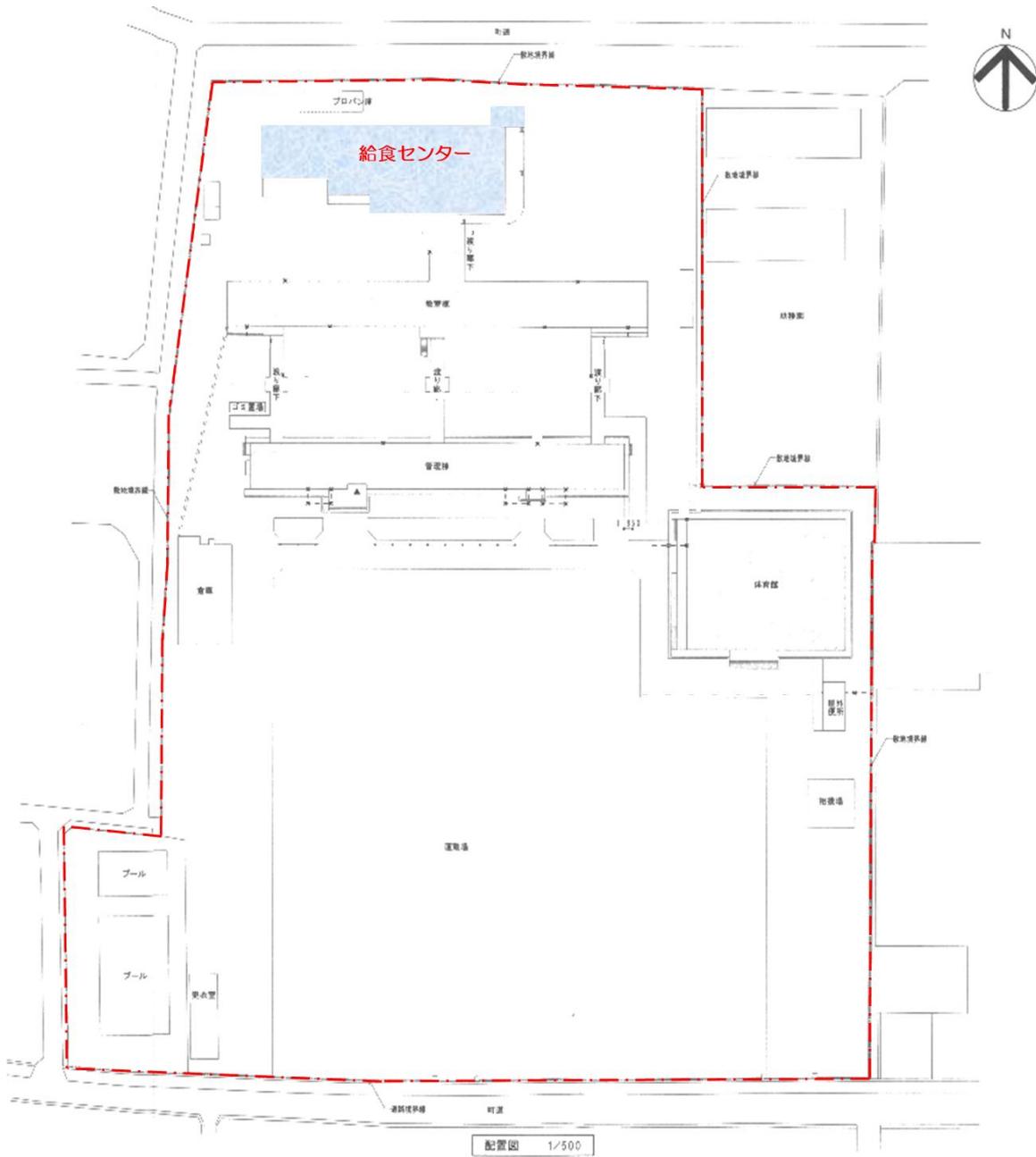


<中学校>





<給食センター>



## ④施設関連経費の推移

各年度の教育費を下記項目にまとめたものです。

図表 小学校の施設関連経費

(単位:千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	4 年間平均
施設整備費	0	0	0	0	0
維持修繕費	1,161	1,169	1,510	1,101	1,235
光熱水費・委託費等	7,323	8,004	8,313	7,676	7,829
その他	383	413	377	463	409
施設関連経費合計	8,867	9,586	10,200	9,240	9,473

図表 中学校の施設関連経費

(単位:千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	4 年間平均
施設整備費	0	0	0	0	0
維持修繕費	872	950	1,254	1,147	1,056
光熱水費・委託費等	5,034	4,976	5,865	5,435	5,328
その他	263	333	250	336	296
施設関連経費合計	6,169	6,259	7,369	6,918	6,679

図表 幼稚園の施設関連経費

(単位:千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	4 年間平均
施設整備費	0	665	0	971	409
維持修繕費	1,014	384	194	316	477
光熱水費・委託費等	1,442	1,782	1,756	1,731	1,678
その他	8,410	6,293	6,729	5,638	6,768
施設関連経費合計	10,866	9,124	8,679	8,656	9,331

図表 給食センターの施設関連経費

(単位:千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	4 年間平均
施設整備費	0	0	0	0	0
維持修繕費	3,583	1,374	2,372	3,187	2,629
光熱水費・委託費等	31,455	31,995	33,113	34,544	32,777
その他	34	38	38	38	37
施設関連経費合計	35,072	33,407	35,523	37,769	35,443

## ⑤学校施設等の保有量

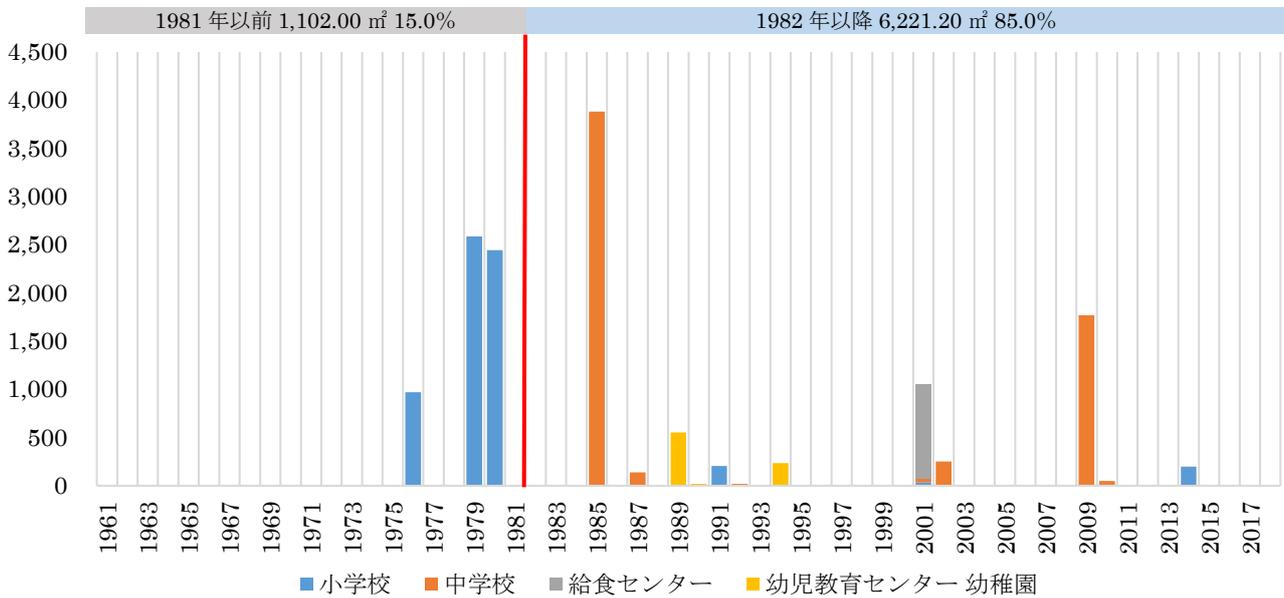
施設名	建築年	数量	耐震基準	耐震診断	改修状況
小学校					
倉庫	S37.01	194 m <sup>2</sup>	旧耐震基準		解体済
屋内運動場	S52.03	970 m <sup>2</sup>	旧耐震基準	H21 改修済	H22 改修済
普通教室棟	S54.08	2,587 m <sup>2</sup>	旧耐震基準	H21 改修済	
管理特別教室棟	S56.03	2,302 m <sup>2</sup>	旧耐震基準	H21 改修済	
渡り廊下	S56.03	140 m <sup>2</sup>	旧耐震基準	改修不要	
プール附属棟	H03.06	106 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
屋外便所	H03.09	98 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
給食配膳室	H13.08	36 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
体育倉庫（倉庫）	H26.10	173 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
体育倉庫（屋外便所）	H26.10	26 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
中学校					
校舎	S61.03	3,881 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
部室	S63.03	67 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
教材庫	S63.03	19 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
部室	H05.03	19 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
屋外便所	S63.03	26 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
屋外便所	S63.03	26 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
給食配膳室	H13.08	38 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
金木工室	H14.08	252 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
屋内運動場	H22.03	1,769 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
体育倉庫	H22.05	50 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
幼児教育センター 幼稚園					
園舎	H02.02	623 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
倉庫	H06.06	60 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
倉庫	H02.12	20 m <sup>2</sup>	新耐震基準		
給食センター					
給食センター	H13.08	978 m <sup>2</sup>	新耐震基準		

出典：公立学校等建物の棟別面積表（小中学校・幼稚園：令和2年度、給食センター：令和1年度）

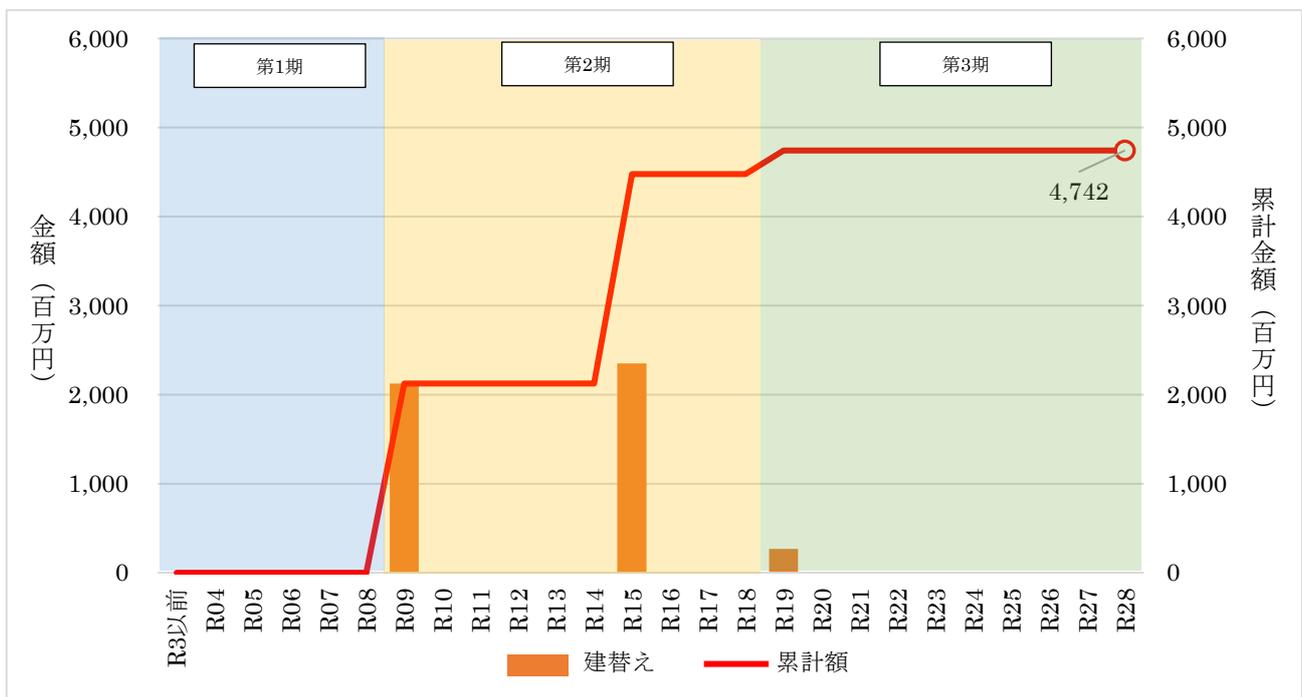
⑥ 築年別整備状況

図表 築年別整備状況

(単位：㎡)



⑦ 今後の維持・更新コスト（従来型）



## (2) 学校施設の老朽化状況の実態

## ①構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

劣化状況評価については、公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構の建物調査報告書を基に、学校施設長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月 文部科学省）の評価基準書に沿って町独自で判定したものです。

建物基本情報												
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数
					学校種別	建物用途				西暦	和暦	
1	814	小学校	普通教室棟	1	小学校	校舎	RC	3	2,588	1979	S54	41
2	814	小学校	管理特別教室棟	2	小学校	校舎	RC	3	2,776	1980	S55	40
3	814	小学校	屋内運動場	3	小学校	体育館	S	1	970	1976	S51	44
4	814	小学校	プール附属棟	4	小学校	その他	S	1	106	1991	H3	29
5	814	小学校	屋外便所	5	小学校	その他	S	1	98	1991	H3	29
6	814	小学校	体育倉庫	6	小学校	その他	W	1	199	2014	H26	6
7	3725	中学校	校舎	1	中学校	校舎	RC	4	3,881	1985	S60	35
8	3725	中学校	部室・教材庫	2	中学校	その他	S	1	105	1987	S62	33
9	3725	中学校	屋外便所	3	中学校	その他	S	1	26	1987	S62	33
10	3725	中学校	屋外便所	4	中学校	その他	S	1	26	1987	S62	33
11	3725	中学校	金木工室	5	中学校	校舎	S	1	252	1987	S62	33
12	3725	中学校	屋内運動場	6	中学校	体育館	S	2	1,766	2009	H21	11
13	3725	中学校	体育倉庫	7	中学校	その他	W	1	50	2010	H22	10
14	6736	幼児教育センター 幼稚園	園舎	1	幼稚園	校舎	RC	2	786	1989	H元	31
15	6736	幼児教育センター 幼稚園	倉庫	2	幼稚園	校舎	W	1	25	1989	H元	31
16	K034	給食センター	給食センター	1	給食センター	給食センター	S	1	875	2001	H13	19

出典：建物調査報告書（調査者：公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構）

: 築 50 年以上

A : 概ね良好

C : 広範囲に劣化

: 築 30 年以上

B : 部分的に劣化

D : 早急に対応する必要がある

構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分							
旧	済	済	-	-	長寿命化	C	C	C	B	B	49	
旧	済	済	-	-	長寿命化	C	C	C	B	B	49	
旧	済	済	-	-	長寿命化	A	B	A	B	B	86	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	75	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	75	
新	-	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	100	
新	-	-	-	-	長寿命化	C	C	C	B	B	49	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	75	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	75	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	75	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	75	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	A	A	A	A	98	
新	-	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	100	
新	-	-	-	-	長寿命化	A	A	A	B	B	94	
新	-	-	-	-	長寿命化	A	A	A	B	B	94	
新	-	-	-	-	長寿命化	B	B	A	A	A	91	

## 劣化状況調査票

## ＜佐賀県建設技術支援機構による劣化度診断＞

## 建物調査報告書

業 務 名 江北町教育施設校舎等劣化調査業務委託(江北小学校)

発 注 者 江北町子ども教育課 様

調 査 日 令和 元 年 7 月 31 日

### 調査結果(全体所見)

標記業務について、調査結果を以下に報告致します。

#### ● 調査の対象

①小学校教室棟	RC	造	3	階
②小学校管理棟	RC	造	3	階
③屋内運動場(体育館)	S	造	1	階
④プール・プール附属棟	S	造	1	階
⑤屋外便所	S	造	1	階
⑥体育倉庫	W	造	1	階

#### ● 調査の方法等

建物各部の状態および動作等について、目視確認を主に動作確認・打診調査等による。

#### ● 調査の結果

調査結果記録表および調査写真(その他写真含む)を参照

#### ● 建築物調査の所見

①外部での主な劣化状況等については、軒裏(庇裏)等のコンクリート浮き・ひび割れの進行、欠損や露筋、塗装塗膜の剥がれ。また排水樋樋の掴み金物のサビ劣化がかなり進行しています。屋上防水についても過去に防水改修がなされているようですが、屋上点検口回りに破断が見られます。

内部での劣化状況等は、各階共通として壁・床・天井ともに全体的な経年劣化が見られます。構造躯体のひび割れも各所に見られ、劣化進行具合に注意が必要です。便所についても臭いや汚損が目立ちますので洋式化、ユニバーサルデザイン化が望まれます。

②外部での劣化状況等について、構造躯体(柱型)および軒裏(庇裏)のひび割れが目立ちます。また、西面分電盤内に漏水が確認されますので併せて早期の改善が必要です。屋上防水についてはH13に改修がなされていますが、保護塗膜の劣化や玉砂利押え部の雑草の繁茂など見られます。

内部の劣化状況については①と同様の劣化状況が確認されます。

③内外部ともに特に目立つ劣化状況は確認できませんでした。外部に露出している鉄骨構造部材、屋根鋼板などの維持管理を適切に行ってください。

屋外階段(南側)回りに地盤沈下の影響と思われる陥没等が見られます。

④プール施設全体的に老朽化しています。槽内専用防水塗膜の更新改修が望まれます。洗眼・手洗い台およびプールサイドにモルタル欠損・ひび割れが見られます。外周ネットフェンス架台に一部割れがあり、倒壊に繋がる恐れがあるため注意が必要です。プール附属棟については外装サイディングの継ぎ目およびサッシ回りシーリングの劣化破断

調 査 者 公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構

**調査結果(全体所見)**

④(続き) が顕著です。打替え等の対応が必要です。  
滅菌機械室内に鉄部サビ劣化が見られます。配電盤等への影響が懸念されます。

⑤外部について、外装材および屋根に劣化事象は見られません。雨水桝からの横引き管露出による破損、外部照明器具の破損が見られます。屋内運動場へ続く下屋通路部の鉄骨部材にサビ劣化が一部見られますので、定期の維持管理が望まれます。  
内部については基礎立上りと内装材下端の取合い部においてシーリング破断が見られます。(部室および倉庫内については現況確認できませんでした)

⑥内外部ともに特に目立つ劣化状況は確認できませんでした。(H26築)

調 査 者

公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構



調査対象 江北小学校 資料 No.2 普通教室棟平面図

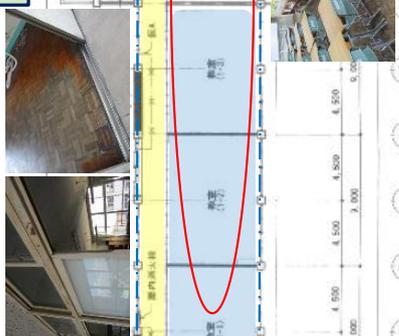
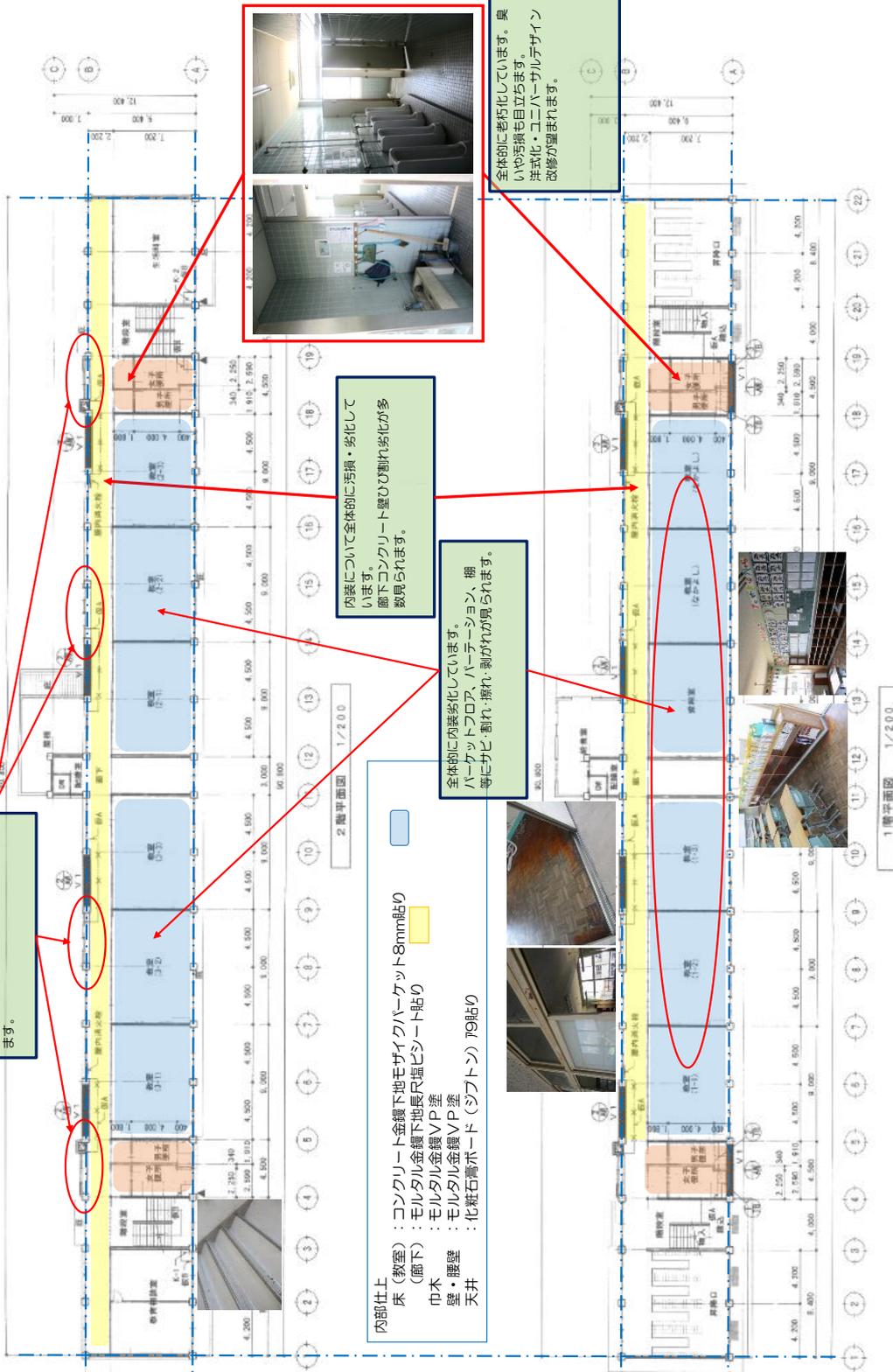
廊下手洗い場全体的に老朽化、蛇口等一部に取付不良箇所も見られます。ステンレス製等への更新改修が望まれます。

内装について全体的に汚損・劣化しています。廊下コンクリート壁ひび割れ劣化が多数見られます。

全体的に内装劣化しています。ハーケットフロア、ハーテージョン、棚等にサビ・割れ・剥れ・割れが見られます。

全体的に老朽化しています。臭いや汚損も目立ちます。洋式化・ユニバーサルサイン改修が望まれます。

- 内部仕上
- 床(教室) : コンクリート金網下地モザイクタイル8mm貼り
  - 床(廊下) : モルタル金網下地黒尺塩ビシート貼り
  - 巾木 : モルタル金網VP塗
  - 壁・腰壁 : モルタル金網VP塗
  - 天井 : 化粧石膏ボード(ジブトント)A9貼り



建物床面積	942.3㎡
1F	862.52㎡
2F	862.52㎡
合計	1725.04㎡ (取換算)

普通教室棟 1階・2階 平面図



調査対象

江北小学校

資料 No.4

普通教室棟 立面図

鳥上階の庇事全体的に、コンクリート浮き・ひび割れ・欠損・露筋・露筋・塗装剥げ等が見られます。

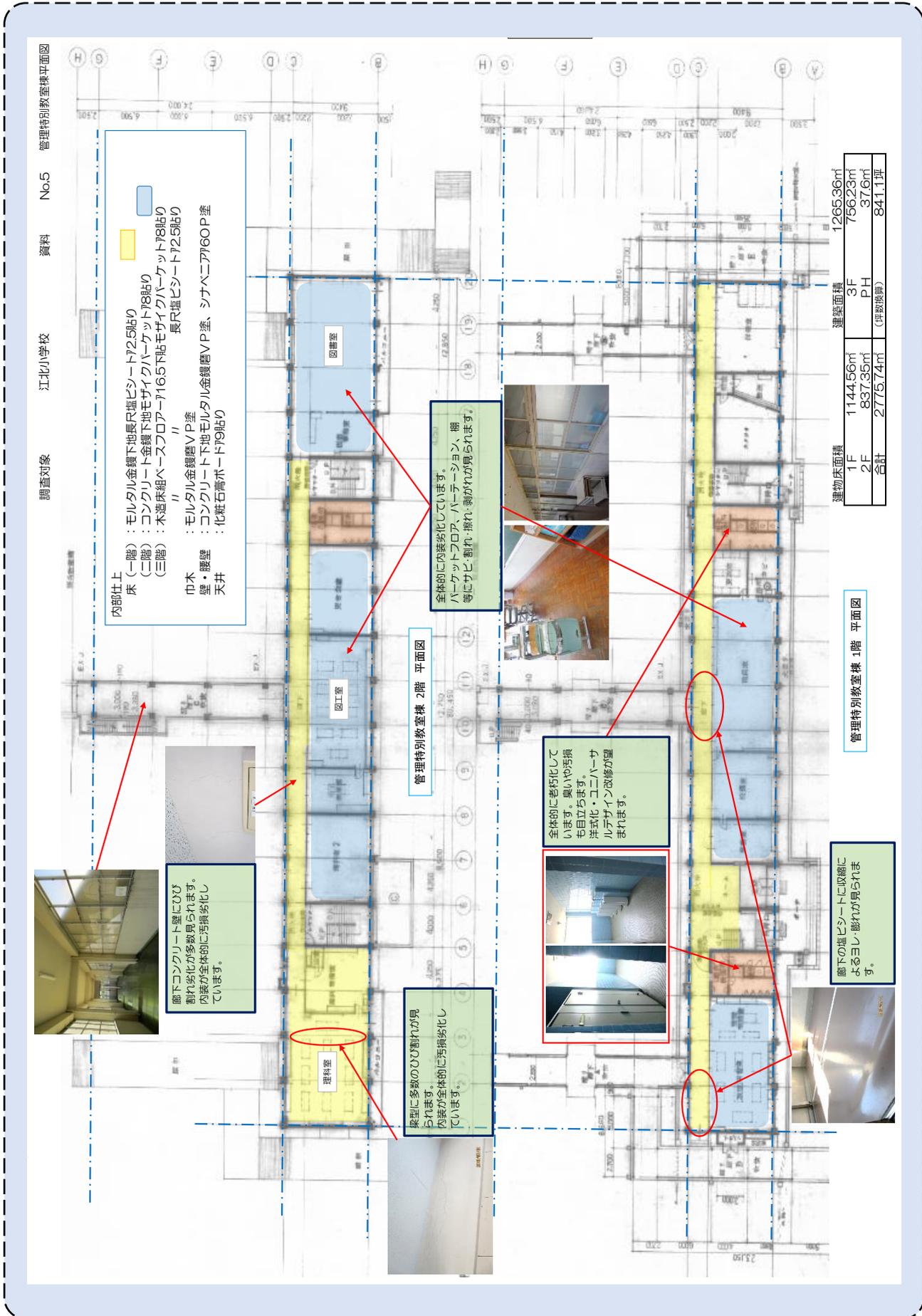
全ての壁の支持金物がサビ劣化しています。また、一部の壁は縦さ目より漏水が見られます。

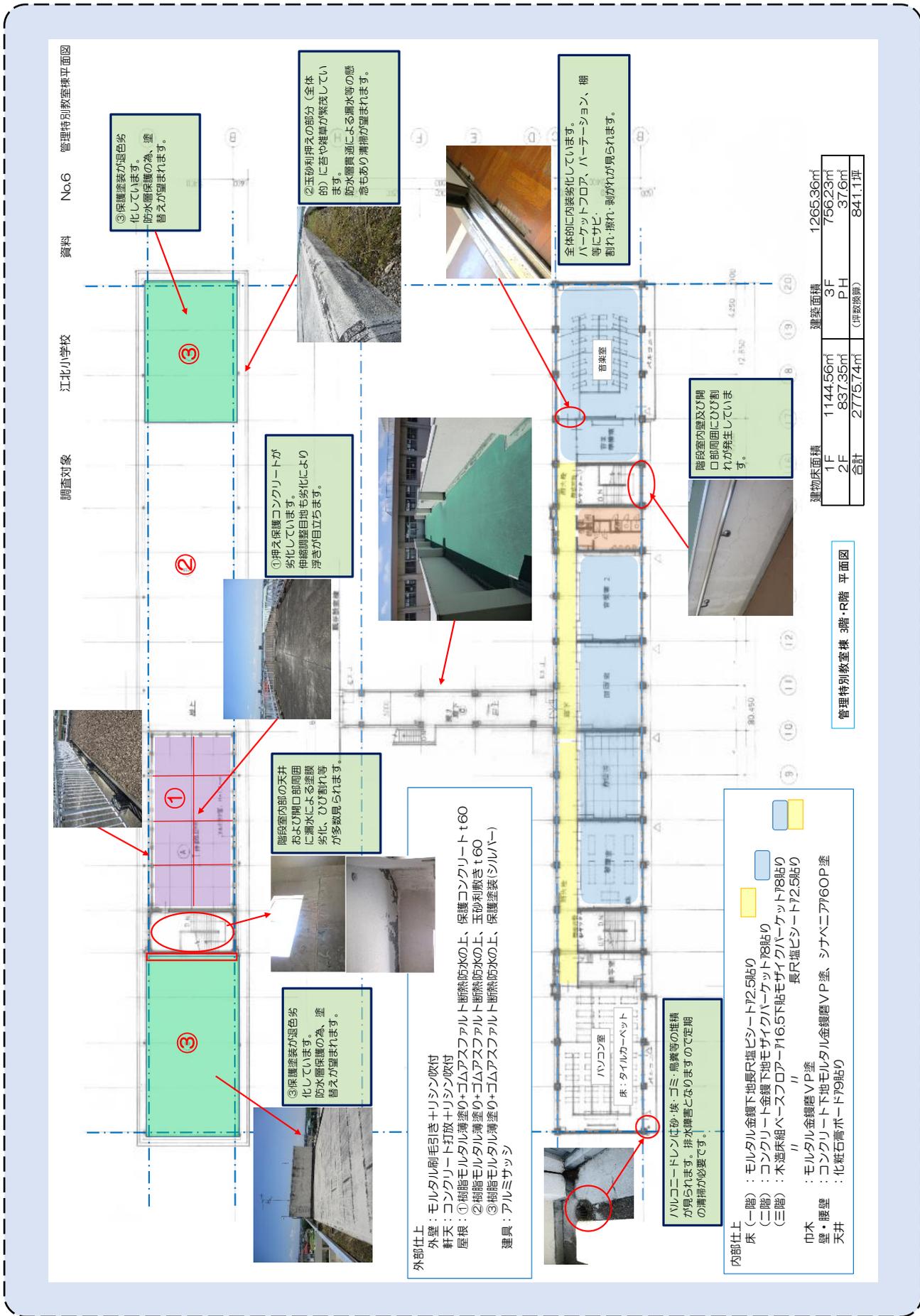
庇ハラベットのモルタルに一部浮きが見られます。劣化進行により欠落の恐れがありますので注意が必要です。

普通教室棟 立面図

※平成20年に耐震診断および耐震改修工事が行われています。

外部仕上  
 外壁：モルタル刷毛引き+リシン吹付、一部磁器タイル貼り  
 軒天：コンクリート打放+リシン吹付  
 屋根：既存防水層の上、合成高分子系ルーフィングシート防水 保護塗装（改修済と思われる）  
 （屋根スラブ下面スタイロフォーム25mm打込み）  
 建具：アルミサッシ





調査対象 江北小学校 資料 No.7 管理特別教室棟立面図

**普通教室棟**

階段室屋根の立上り防水端部シーリングが劣化しています。併せて定期的な維持管理が必要です。

階段室屋根面に大きなひび割れが発生しています。漏水等の懸念があります。

階段室屋根庇に漏水により露筋・砂利欠損・塗装剥がれが見られます。

**管理特別教室棟**

**普通教室棟**

ブルボックス等にサビ劣化が見られます。分電盤内に漏水の確認されますので至急対応が必要です。

上階/バルコニーからの雨水により塗装剥がれ、また、曝露露筋が見られます。劣化の懸念もあるため、早期の対応が必要です。

外壁躯体柱間にひび割れが多数見られます。劣化進行により欠落等の恐れがあります。注意が必要です。

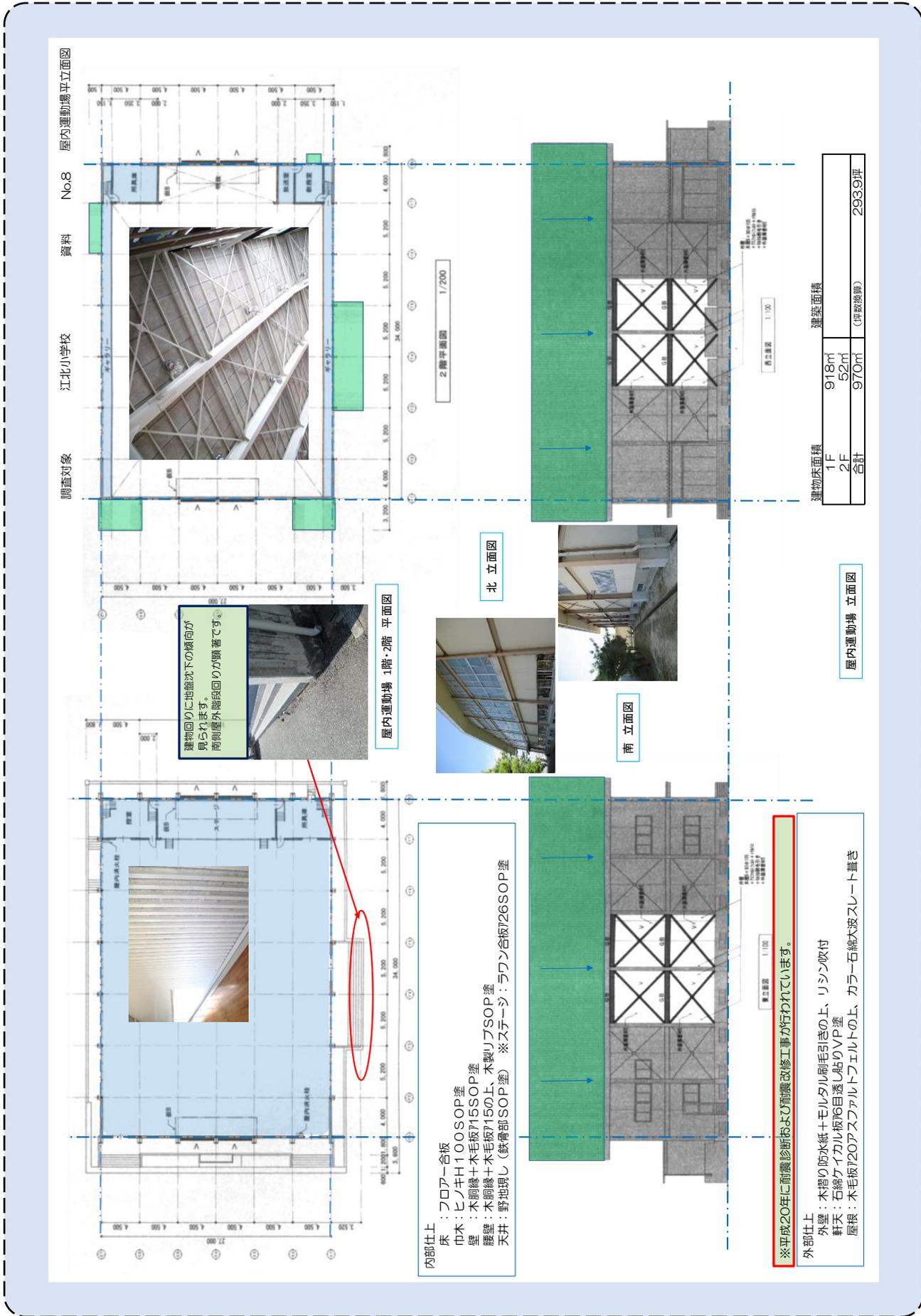
屋上庇裏に大きなひび割れが発生しています。劣化の進行による欠落の恐れがあります。

ほぼ全ての隠蔽の支持金物がサビ劣化しています。

※平成13年に屋上防水およびバルコニー部の改修工事が行われています。  
 ※平成20年に耐震診断および耐震改修工事が行われています。

外部仕上  
 外壁：モルタル刷毛引き+リシン吹付  
 軒天：コンクリート打放+リシン吹付  
 屋根：コンクリート下地樹脂モルタル薄塗の上ゴアスファルト断熱防水（改修済）  
 （場所により、コンクリート160押え、玉砂利160押え、保護塗膜塗り）  
 建具：アルミサッシ

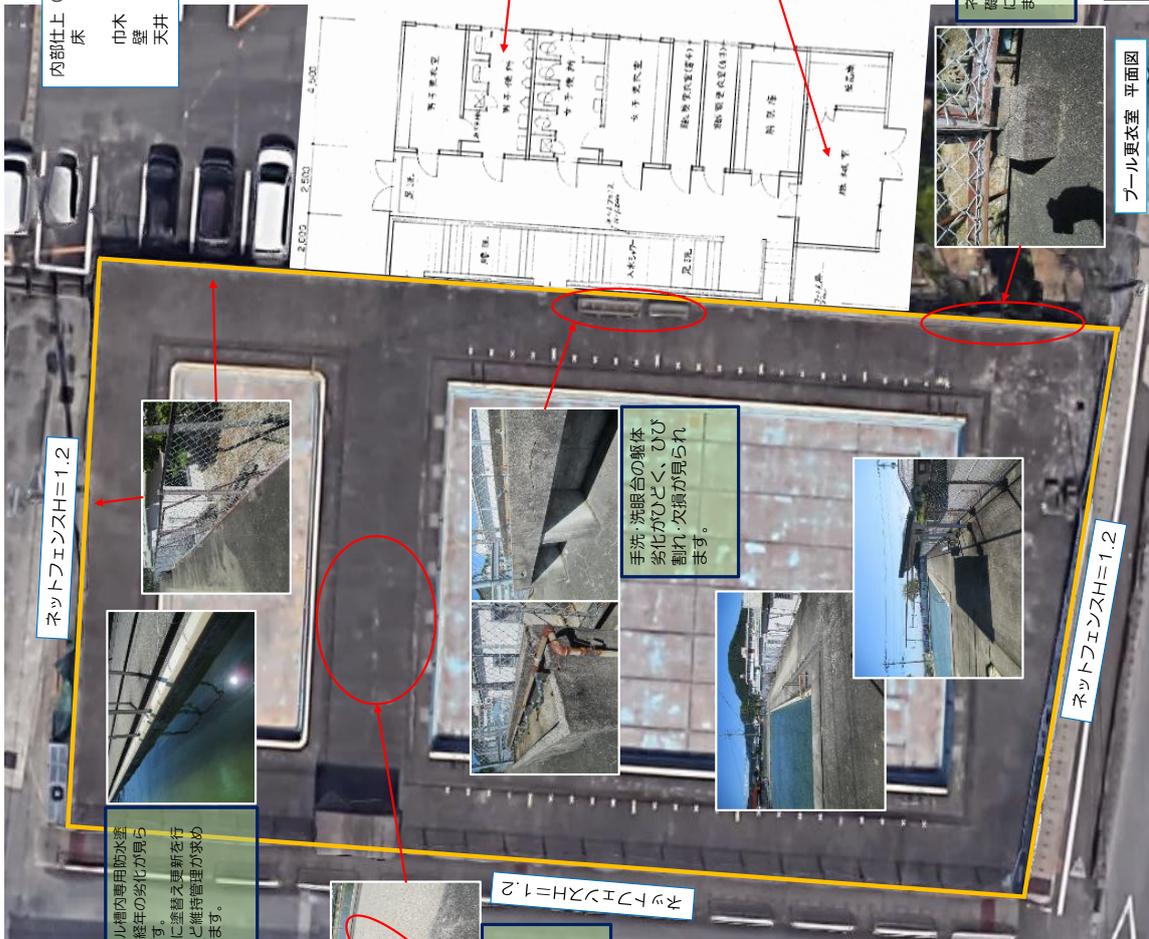
**管理特別教室棟 立面図**



調査対象 江北小学校 資料 No.9 プール更衣室

内部仕上 (更衣室、便所、薬品・機械室)  
床 : モルタル金ゴ子仕上げ

巾木 : モルタル金ゴ子仕上げ H=100  
壁 : ケイ酸カルシウム板78 E P塗り (薬品・機械室は塗装無し)  
天井 : ケイ酸カルシウム板76 E P塗り (薬品・機械室は塗装無し)



ネットフェンスH=1.2

プール室内専用防水塗膜に経年の劣化が見られます。定期的に塗替え更新を行うなど、維持管理が求められます。

プールサイドモルタルに劣化が見られます。一部の割れが発生しています。

手洗、洗眼台の躯体劣化がひどく、ひび割れ、欠損が見られます。

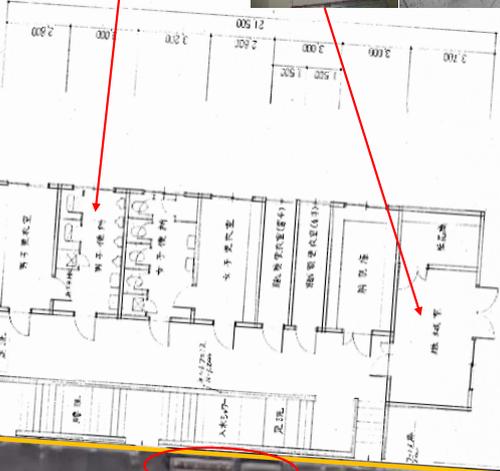
ネットフェンス支柱基礎に割れがあり、倒壊に繋がる可能性があります。



給排水の更新改修工事が行われています。※劣化事象は見られません。



減湿機械室のビスやドアチャェック等がサビ劣化しています。推奨した温度が原因と見られますので、適切な管理が換気扇対応が必要です。



プール更衣室 平面図

建物床面積	106㎡	建築面積	106㎡
1F	106㎡		
合計	106㎡	(取換換算)	32.1坪

調査対象 江北小学校 資料 No.10 プール更衣室

東面図 S=1/100

南面図 S=1/100

西面図 S=1/100

北面図 S=1/100

プール更衣室 (撮影: 2022年)

外壁サイディングのジョイントサイディングが劣化破断しています。(全体的に) 漏水により構造体腐食の原因となりますので早期対応が望まれます。

軒端部での漏水により鉄部腐食がサビ劣化しています。屋根物の清掃など維持管理が必要です。

ハラハット外部に看板等掲示鉄骨物があります。腐朽・落下の危険性がありますので至急撤去が必要です。

排水管の躯体貫通部シーリング劣化により隙間が空いています。漏水により構造体腐食の原因となりますので早期対応が望まれます。

外部仕上  
 外壁：サイディング塗装品 712  
 軒天：ケイ酸カルシウム板 716 EP塗りの  
 屋根：鉄骨下地ルーフトレッキ 706 H=87  
 根廻：モルタル刷毛引き  
 建具：アルミサッシ (東側はアルミ面格子取付)

建物床面積	106㎡		建築面積	106㎡
1F	106㎡	2F	106㎡	(甲数換算)
合計	212㎡		32.1坪	

プール更衣室 立面図

調査対象 江北小学校 資料 No.11 屋外便所

屋根からの排水壁下部に雨水  
樋が無く、地盤面上に横引き溝  
が配管されています。屈曲部で  
割れ補修跡あり。通路部でもあ  
り埋設配管が望まれます。

内壁下端（基礎  
取合い部）の  
シーリングが破  
断しています。

通路照明が破損していま  
す。  
漏電の恐れもある為、交  
換が必要です。

下屋通路部の鉄骨部材に  
サビ劣化が見られます。  
定期的な塗装等の維持管  
理が望まれます。

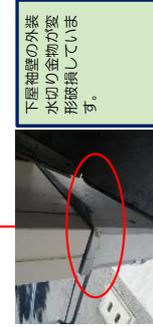
内部仕上  
床：モルタル金ゴテ  
巾木：モルタル金ゴテ  
壁：ケイ酸カルシウム板8 EP塗り  
天井：ケイ酸カルシウム板6 EP塗り

建物床面積  
1F 98㎡  
2F 98㎡ (坪数換算)  
合計 196㎡

建物面積 98㎡

29.7坪

調査対象 江北小学校 資料 No.11 体育倉庫



下層補壁の外装  
水切りの袋物が変  
形破損していま  
す。



※平成26年築造。特段の劣化事象は見られません。

建物床面積	建築面積	199㎡	199㎡
1F			
2F			
合計	199㎡ (坪数換算)		60.3坪

内部仕上  
床 : モルタル金ゴテ  
巾木 : モルタル金ゴテ  
壁 : 外装現し(木軸組 防湿シート現し)  
天井 : 屋根現し(カラー鋼板折板裏打ち材現し)

## <佐賀県建設技術支援機構による劣化度診断>

# 建物調査報告書

業 務 名 江北町教育施設校舎等劣化調査業務委託(江北中学校)

発 注 者 江北町子ども教育課 様

調 査 日 令和元年8月7日

### 調査結果(全体所見)

標記業務について、調査結果を以下に報告致します。

#### ● 調査の対象

① 中学校校舎棟	RC	造	4	階	
② 部室・教材庫	S	造	1	階	
③ 屋外便所	S	造	1	階	(2棟)
④ 給食配膳室 ※校舎棟に含む	S	造	3	階	
⑤ 金木工室	S	造	1	階	
⑥ 屋内運動場(体育館)	S	造	2	階	
⑦ 体育倉庫	W	造	1	階	

#### ● 調査の方法等

建物各部の状態および動作等について、目視確認を主に動作確認・打診調査等による。

#### ● 調査の結果

調査結果記録表および調査写真(その他写真含む)を参照

#### ● 建築物調査の所見

① 外部での主な劣化状況等については、軒裏(庇裏)、屋外階段等のコンクリート浮き・ひび割れの進行、欠損や露筋、塗装塗膜の剥がれ。また排水縦樋の掴み金物のサビ劣化が進行しています。設備配管による外壁貫通部詰めモルタル充填不良箇所等については、早目の対応が望まれます。また、敷地全体として地盤沈下の影響が各所に見られます。屋上防水については特に劣化がひどく、至急、防水改修工事を行う必要があると思われま

す。内部での劣化状況等は、各階共通として壁・床・天井ともに全体的な経年劣化が見られます。構造躯体のひび割れも各所に見られ、劣化進行具合に注意が必要です。内部全体の更新改修が望まれます。

② 全体的に経年による汚損や劣化が見られますが、構造躯体である鉄骨部材(柱・梁・ブレース等)のサビ劣化が顕著です。早期の改善対応もしくは建替え等の検討が望まれます。

内部についても外装同様の経年劣化が見られます。断熱材等は無く、寒暖差の影響を受けやすい仕様となっています。

③ 過去には給排水その他の更新改修がなされている模様です。外部での主な劣化状況等については特に目立った事象はありませんが、屋根折版端部のサビ劣化、雨樋の塗装剥げが見られます。また鉄骨躯体に溶融亜鉛メッキが施されていると思われま

すが、酸化が進行していますので防錆保護塗装等の対応が望まれます。内装については汚損が目立ちます。トイレブースに一部サビ劣化が見られますので早期の改善対応が望まれます。

調 査 者 公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構

**調査結果(全体所見)**

④校舎棟(①)に接続されています。内外装ともに特段の劣化事象は見られません。

⑤外部について、サッシ回りシーリングの一部に硬化劣化が見られますが、外装材および屋根に特段の劣化事象は確認できません。校舎棟との連絡通路(渡り廊下)の鉄骨部材にサビ劣化が見られます。設備配管を含め塗替え改修等が望まれます。

内部については各室共に目立つ劣化事象は見られません。

⑥過去に鋼板屋根からの漏水による改修工事がなされているようですが、漏水事象は現在も続いているとの事(聴き取り確認)。調査による根本的な原因追究と適切な改修対応が待たれる処です。陸屋根部のアスファルト防水は保護塗装が経年劣化していますので適切な維持管理が求められます。外壁継ぎ目のシーリングに硬化によるひび割れが発生しています。

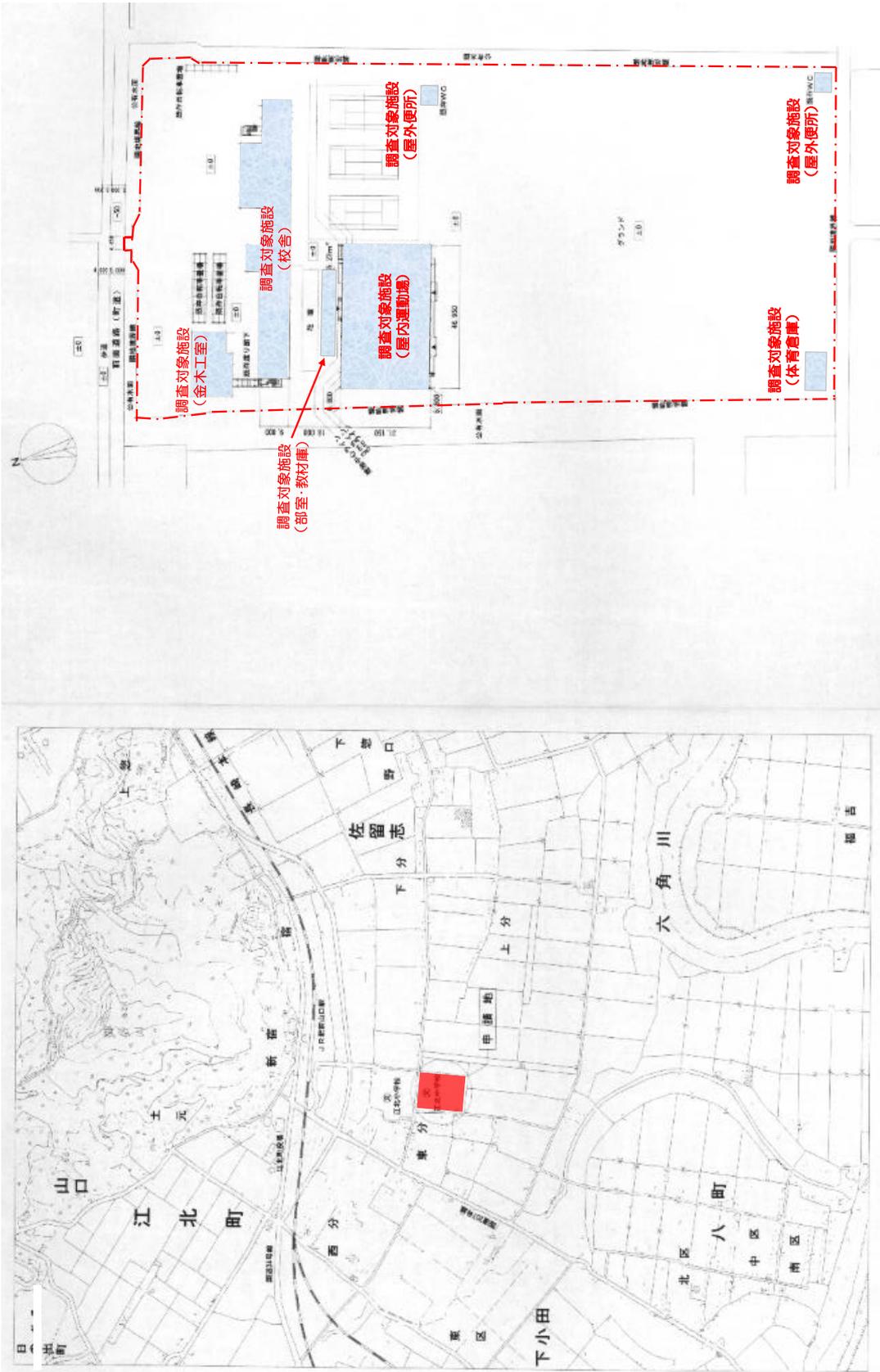
内装については特段の劣化事象は見られません。

⑦経年による汚損等は見られますが、特段の劣化事象は確認できません。  
(内部については現況確認できませんでした)

調 査 者

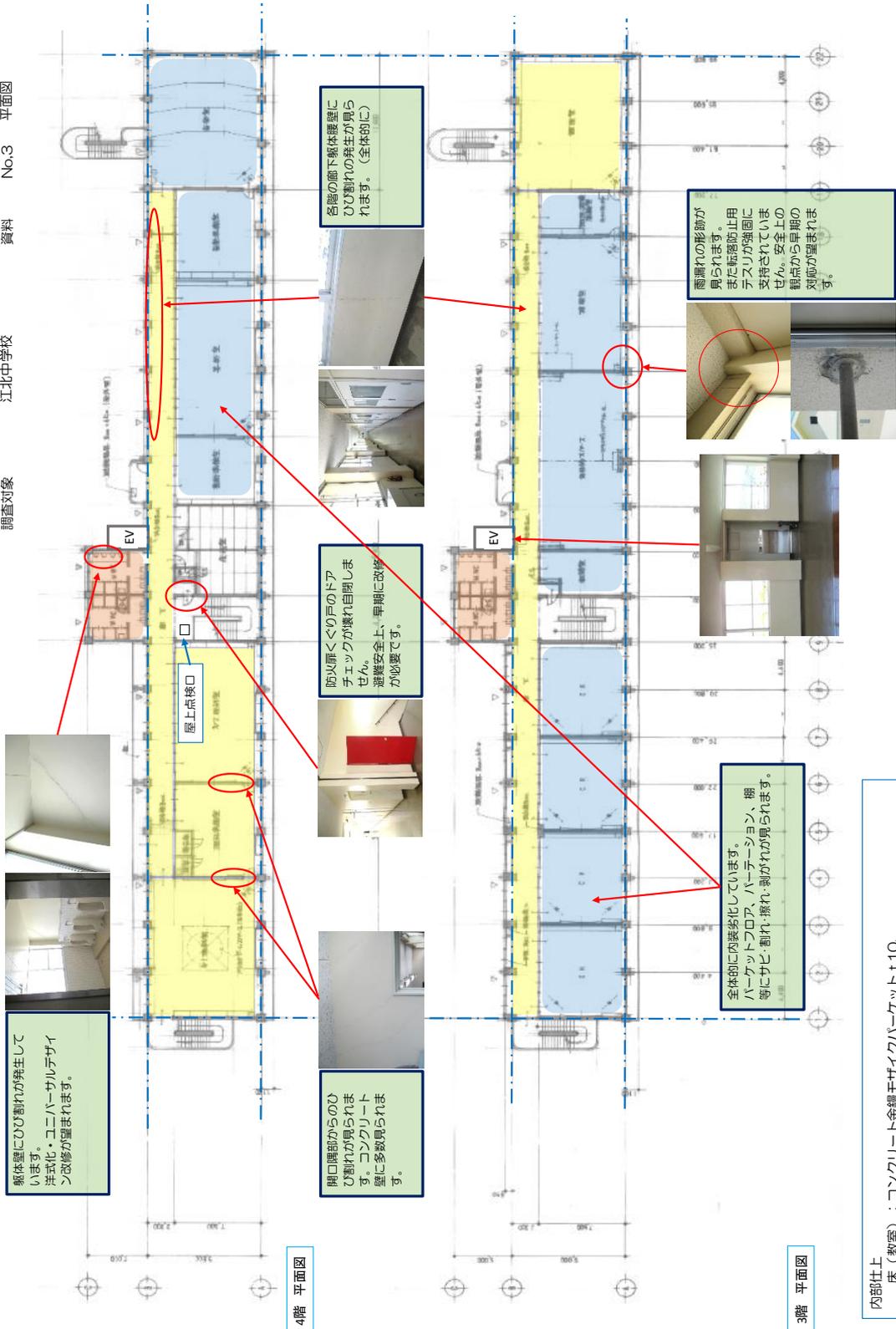
公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構

調査対象 江北中学校 資料 No.1 全体配置図





調査対象 江北中学校 資料 No.3 平面図



躯体壁にひび割れが発生しています。  
洗式化・ユニバーサルデザイン改修が望まれます。

開口周辺からのひび割れが見られます。コンクリート壁に多数見られます。

防火扉くぐりの戸のドアチェックが壊れ自閉しません。  
避難安全上、早期に改修が必要です。

名階の廊下躯体壁壁にひび割れの発生が見られます。(全体的)

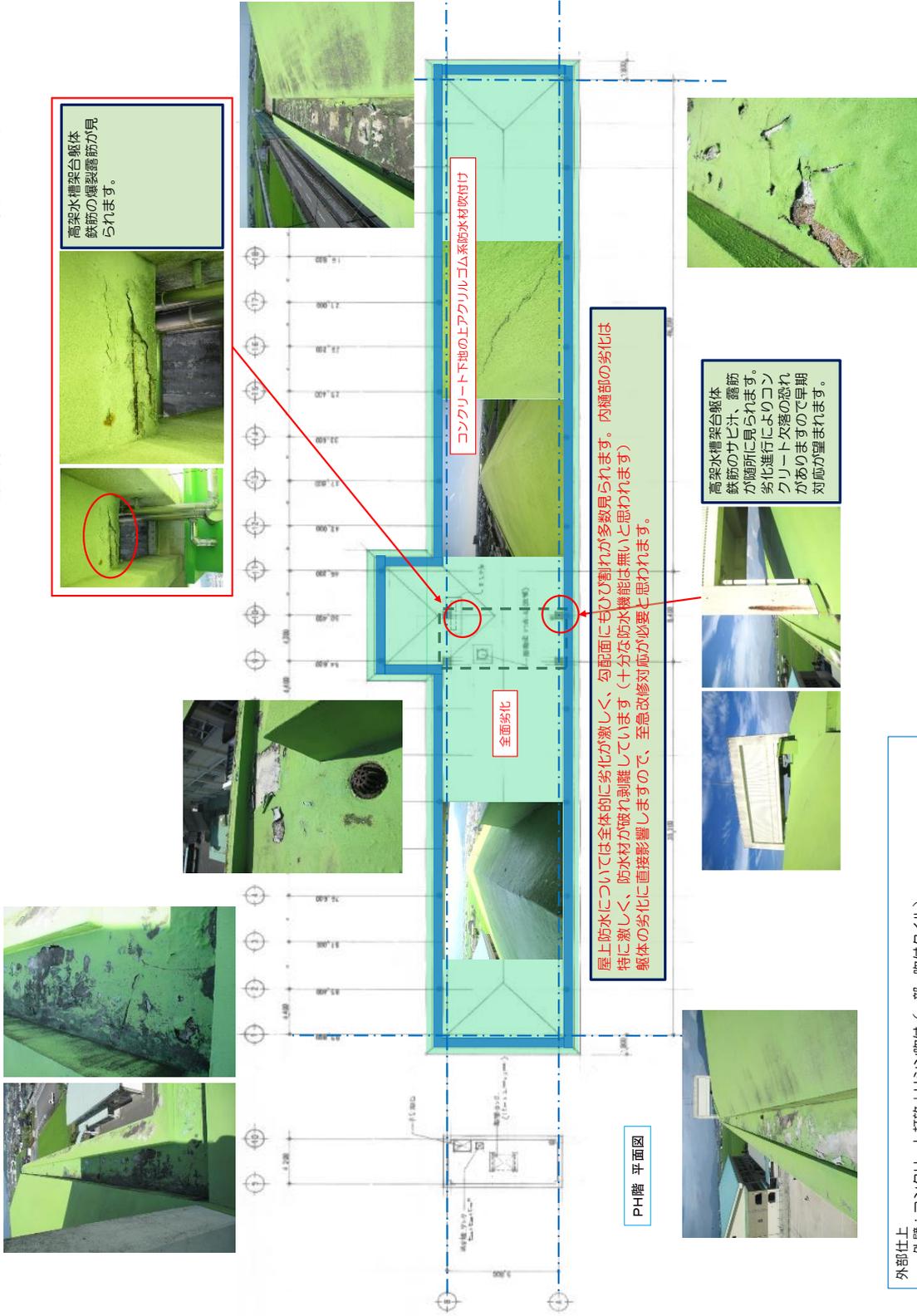
全体的に内装劣化しています。  
パーゲットフロア、パーテーション、棚等にカビ・割れ・剥れ・剥がれが見られます。

雨漏れの形跡が見られます。  
また転落防止用アスリが強固に支持されていません。安全上の観点から早期の対応が望まれます。

- 内部仕上
- 床(教室) : コンクリート金網モザイクパーケットt10、
- 床(廊下) : コンクリート金網長尺塩ビシート72.5張り
- 巾木
- 壁 : ヒノキH750P 塗
- 天井 : コンクリート下地モルタル金網、木下地シナベニヤ16目透しOP塗
- 天井 : 化粧石膏ボード貼り

建物床面積	建築面積	1286.72㎡
1F	3F	1069.24㎡
2F	4F	944.92㎡
合計	(甲数換算)	3881.12㎡
		1176.1坪

調査対象 江北中学校 資料 No.4 平面図



外部仕上  
 外壁：コンクリート打放+リシン吹付（一部、吹付タイル）  
 軒天：コンクリート打放+リシン吹付  
 屋根：コンクリート金網下地+アクリルゴム系防水材料吹付け

調査対象 江北中学校 資料 No.5 立面図

**外部仕上**  
 外壁：コンクリート打放+リシン吹付（一部、吹付タイル）  
 軒天：コンクリート打放+リシン吹付  
 屋根：コンクリート金網+下地アクリルゴム系防水材吹付

**南立面図**

屋根からの雨水浸透により軒裏の吹付塗膜の剥がれ、コンクリート浮き、露筋が見られます。劣化進行により交差の恐れがありますので注意が必要です。

地盤沈下の影響か、一部陥没等が見られます。

**西立面図**

屋外階段モルタル窓木に一部浮きが見られます。劣化進行により交差の恐れがあります。

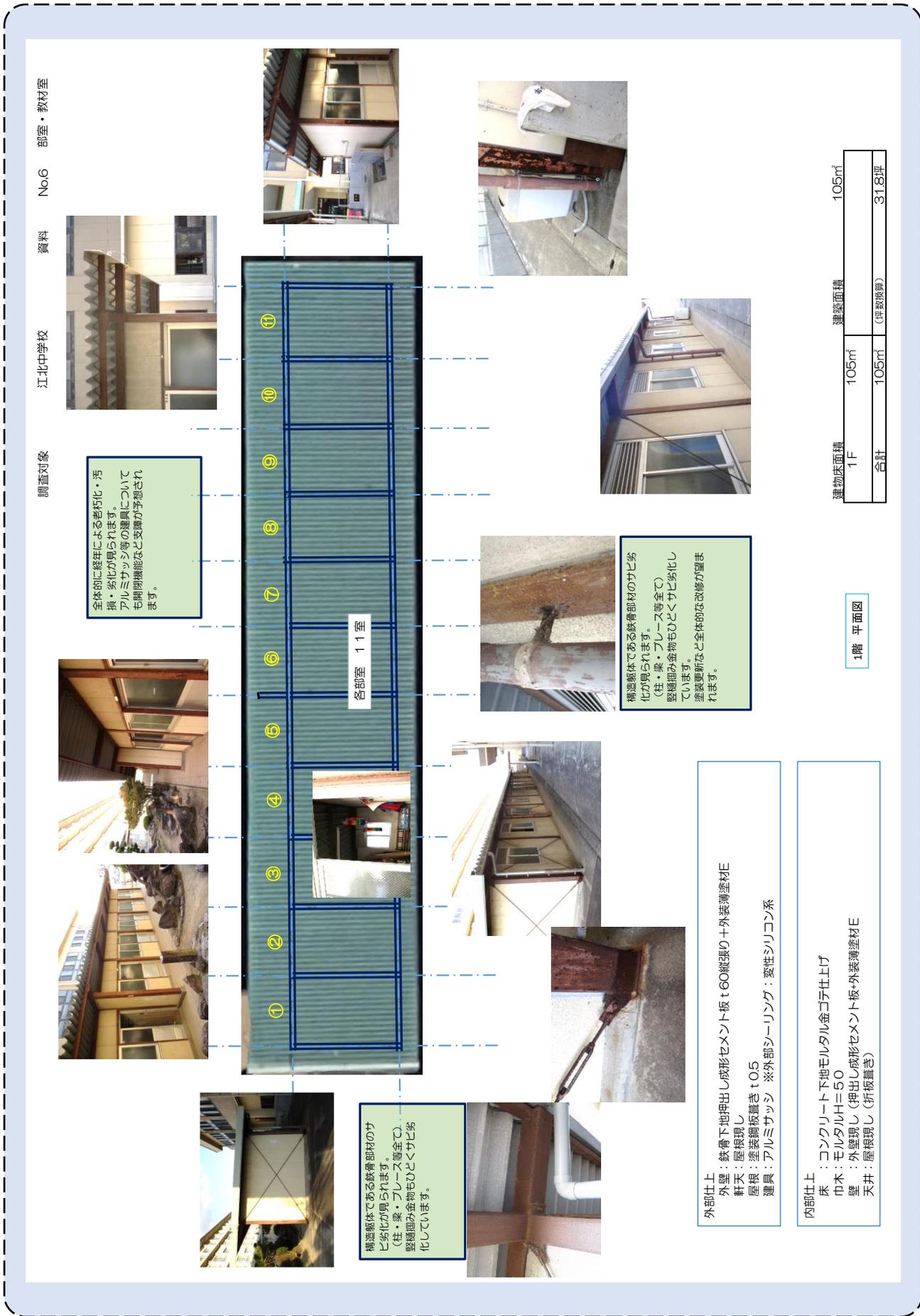
**北立面図**

設備配管による外壁貫通部の詰めモルタルが外れています。

全ての壁面の支持金物及びスチールカー支持金物がサビ劣化しています。また一部の壁面は継ぎ目よりの漏水が見られます。

**東立面図**

屋外階段裏に吹付塗膜の剥がれ、コンクリート浮き、露筋が見られます。劣化進行により交差の恐れがあります。



調査対象

江北中学校

No.7 屋外便所

資料

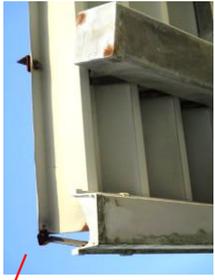
1階 平面図

鉄骨躯体については透視部鉛メッキが施されていると思われませんが経年により酸化しています。保護防錆塗膜塗装などの維持管理が望まれます。

給水改修工事がなされています。




男子便所  
女子便所



折板屋根端部にサビ劣化が現れます。軒先に経年の劣化は見られますが機能に支障はありません。

**外部仕上**  
 外壁：鉄骨下地押出し成形セメント板 t 60繊維強化防水型複層塗材FE  
 軒天：屋根理し  
 屋根：塗装銅板葺き t 0.5  
 建具：アルミサッシ ※外部シーリング：変性シリコン系

**内部仕上**  
 床：コンクリート下地モルタル金ゴテ仕上げ  
 壁：外壁理し  
 天井：屋根理し

排水配管の塗装剥離が劣化しています。排水に支障は無いようです。

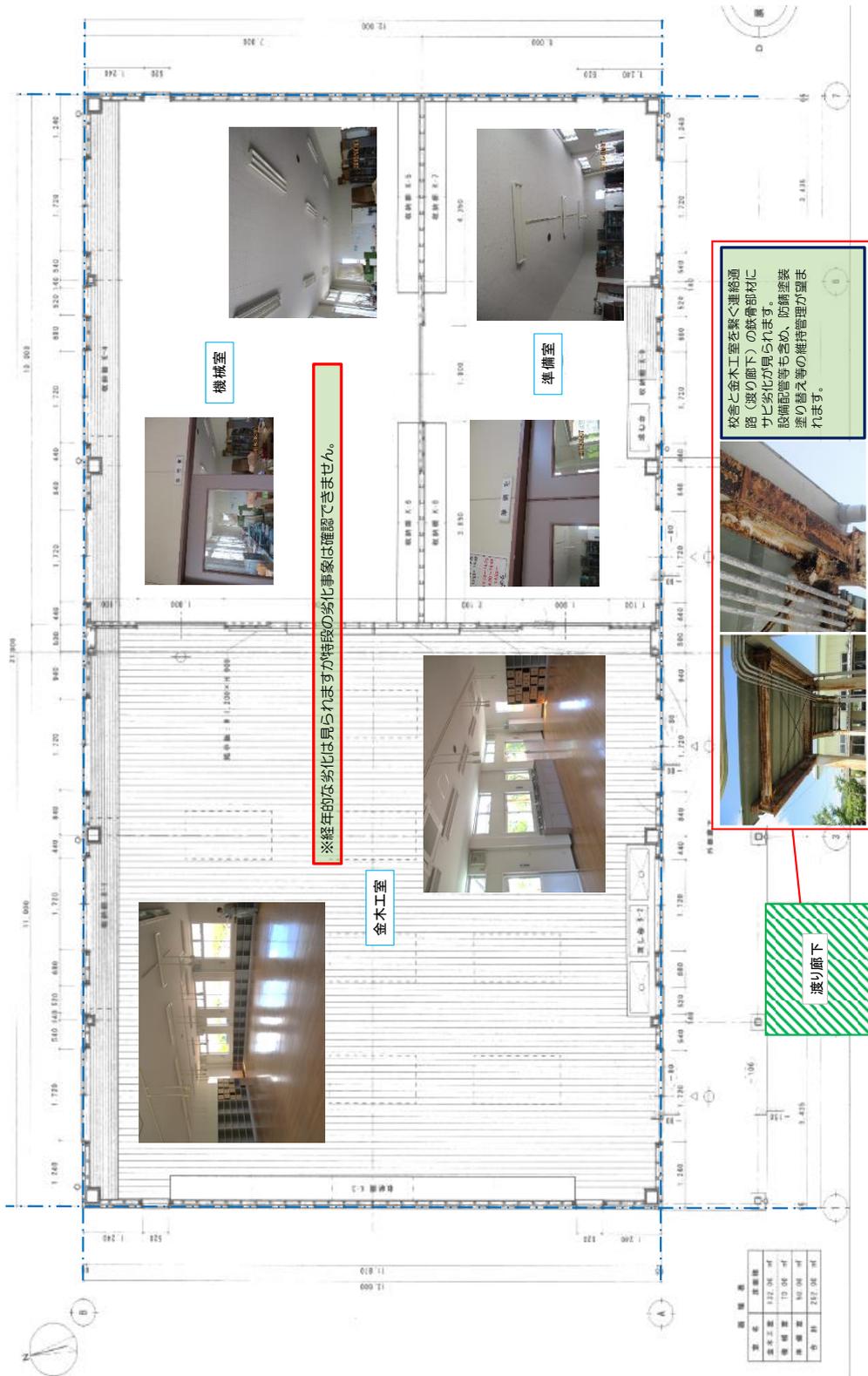
プラスチック製外流し外部水栓・外流しが腐朽・傷損他により破損しています。

トイレアースにサビ劣化が発生しています。(グラント南側便所) 腐食進行中と見られますので、早期の塗装改修等が望まれます。

学校敷地内(グラント)に2棟築造されています。

建物床面積	建築面積
1F	0㎡ (甲数換算)
合計	0㎡

調査対象 江北中学校 資料 No.8 技術教室棟平面図

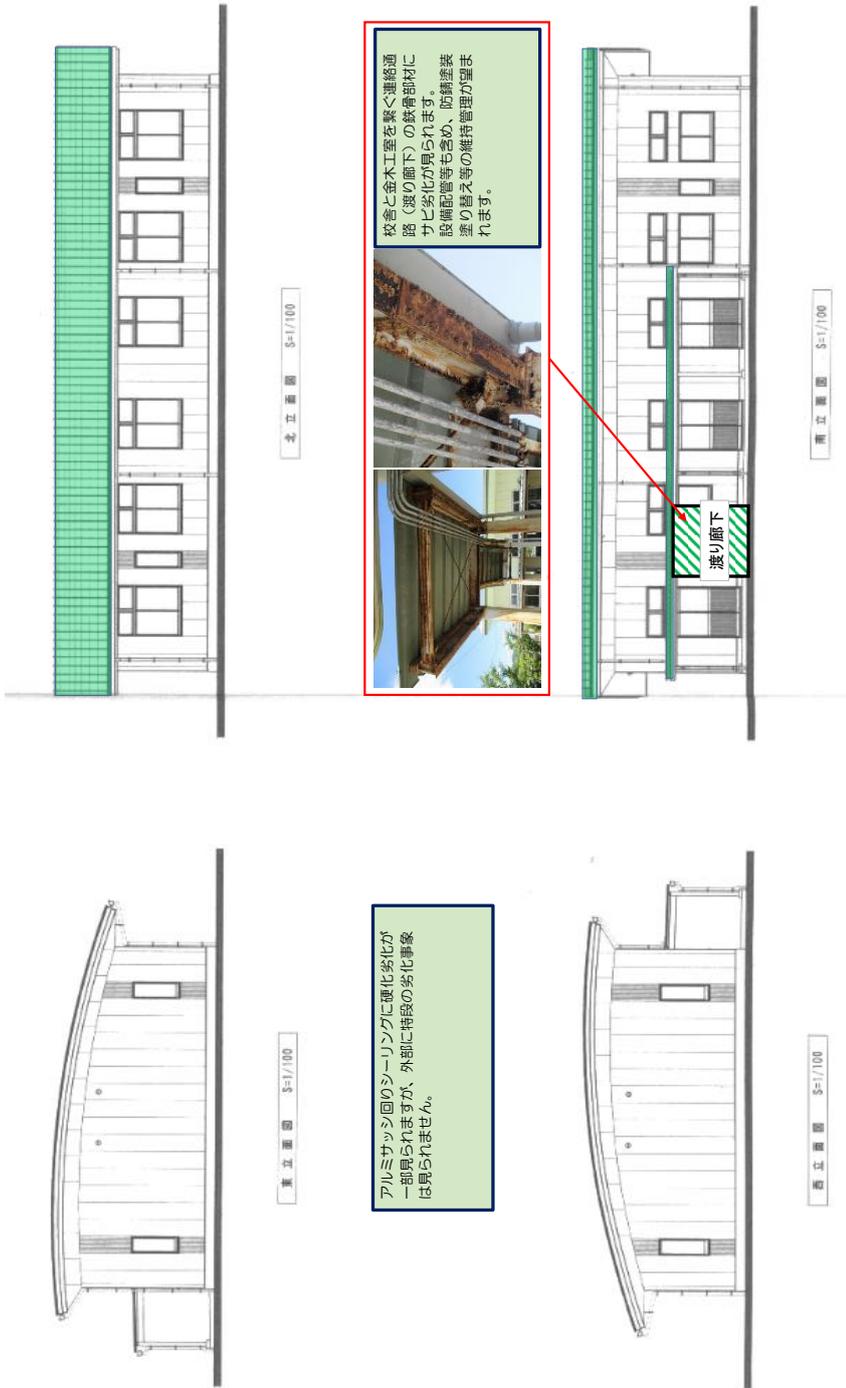


建物床面積		建築面積
1F	252㎡	310.5㎡
合計	252㎡	76.4坪 (坪数換算)

1階 平面図

内部仕上  
 床 (金木工室) : コンクリート金属下地複合フローリング t12直貼り  
 (機械・準備室) : コンクリート金属  
 巾木 : 塩ビ製H60  
 壁 : 軽鉄下地 ケイカル板 t8目透し貼り+EP塗  
 天井 : 軽鉄下地 化粧石膏ボード t9.5

調査対象 江北中学校 資料 No.9 技術教室棟立面図



校舎と金木工室を繋ぐ連絡通路（渡り廊下）の鉄骨部にサビ劣化が認められます。設備配管等も含め、防錆塗装塗り替え等の維持管理が望まれます。

アルミサッシ回りシーリングに硬化劣化が一部見られますが、外部に埒路の劣化事象は見られません。

外部仕上  
 外壁：鉄骨下地押出し成形セメント板 t60編織の+防水型外装薄塗材E  
 軒天：鉄骨下地ケイカル板 t6目透し張りE P 塗  
 屋根：耐摩耗性フッ素樹脂塗装鋼板 t0.5嵌合縦ハゼ置き  
 建具：アルミサッシ ※外部シーリング：変性シリコン系

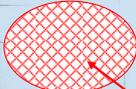
建物床面積	310.5㎡
1F	252㎡
合計	252㎡ (取換換算)
建築面積	76.4坪

調査対象 江北中学校 資料 No.10 屋内運動場平面図

玄関入口の天井は岩綿吸音板  
となっています。ことになってお  
上層はハルコニート防水と  
り、合成高分子シート防水  
と認められます。最上階防水と  
同様の維持管理が望めます。



※平成21年築、一部、屋根からの漏水を聴き取り（屋根改修工事を行うも、不具合が続いている模様）



※高気密地域の内部側に  
全体的な漏水の形跡あり。  
この付近の漏水が特に顕  
著と認められる。過去に修  
繕工事が重点的になされ  
ているが不具合が続いて  
いる状況。

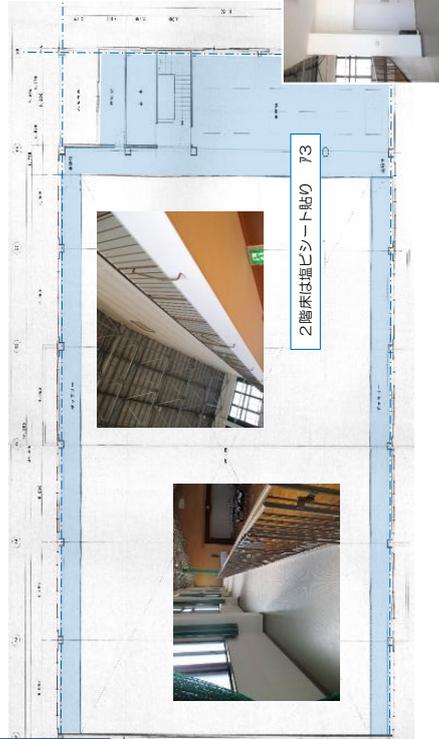
1階 平面図



アリーナ壁面  
は有孔音響調  
整筋張り仕上  
げとなってい  
ます。  
用具庫内はラ  
ワン合板+EP  
塗の仕上げで  
す。  
特に劣化事象  
は見られませ  
ん。



用具庫



2階床は塩ビシート貼り 73

2階 平面図

内部仕上  
床：構造用合板 t15 下地積層フローリング t15 貼り、ポリウレタン3回塗  
巾木：木製および塩ビ製  
壁：木下地 有孔音響調整板(70-70)、軽鉄下地ラワン合板 t12 目透しEP塗  
天井：野地硝し(軟骨部SOP塗) ※ステーション他：軽鉄下地化粧石膏ボード t9.5張り

建物床面積	建築面積	1475.69㎡
1F 1401.81㎡		
2F 364.2㎡		
合計 1766.01㎡	(坪数換算)	535.2坪

調査対象 江北中学校 資料 No.11 屋内運動場立面図

葦木板金等ジョイント部シーリングの経年劣化による目地シーリング破損が見られます。全体のなシーリングの打替え時期と関わります。

経年劣化による目地シーリングのひび割れが一部に見られます。早めのシーリング打替えが望まれます。

南立面図

手洗い場のコンクリート打放し袖壁にひび割れが見られます。

経年劣化による目地シーリングのひび割れが一部に見られます。早めのシーリング打替えが望まれます。

合成高分子系シート防水の保護塗料の剝離劣化が見られます。定期に塗替え等の対応が望まれます。(一部、防水層改修跡があります) ※排水溝及びドレン集水口にゴミ堆積による排水障害があります。定期的な清掃が望まれます。

東立面図

葦木板金等ジョイント部シーリングの経年劣化による目地シーリング破損が見られます。全体のなシーリングの打替え時期と関わります。

経年劣化による目地シーリングのひび割れが一部に見られます。早めのシーリング打替えが望まれます。

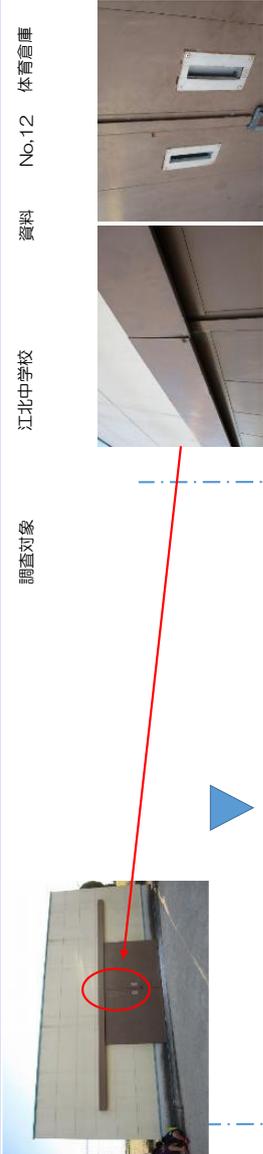
西立面図

軒樋内の排水落ち口廻りに砂・泥・ごみ等の堆積が見られ、一部は水たまりとなっております。直前日雨の当たらない面は苔状の汚れ付着しています。 ※排水溝及びドレン集水口にゴミが堆積中で排水障害があります。定期的な清掃が望まれます。

外部仕上  
 外壁：鉄骨下地ALC板 t50縦張り+吹付タイル  
 軒天：鉄骨下地ALC板 t50縦張り+吹付タイル  
 屋根：耐摩耗性フック素樹脂塗装鋼板 t0.6円筒置き、一部、シート防水 t2.0  
 建具：アルミサッシ ※外部シーリング：変性シリコン系

北立面図

調査対象 江北中学校 資料 No.12 体育倉庫

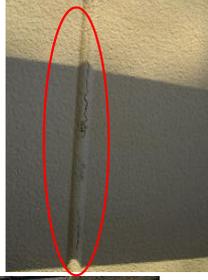


倉庫出入口の細製戸、吊り部カバー及び取っ手周囲に若干のサビ劣化が見られます。特段の変態は無いと思いますが劣化進行防止の対応が望まれます。

外装部に特段の劣化は見られません。樹木等による日照遮蔽の影響からコブが育ちます。



外装部に特段の劣化は見られません。樹木等による日照遮蔽の影響からコブが育ちます。



外装材の継ぎ目（シーリングの上）に樹脂塗材にひび割れが現れます。特段の変態はないと思われれます。

外部仕上  
 外壁：木下地サイディング横張り+防水型複層塗材RE  
 軒天：なし（三方壁防水上り）  
 屋根：塗装鋼板葺き t0.5  
 建具：アルミサッシ ※外部シーリング：変性シリコン系

内部仕上（現況確認できませんでした：想定記載）  
 床：コンクリート下地モルタル金ゴ子仕上げ  
 巾木：モルタル塗り（基礎上り）  
 壁：木下地クイ酸カルシウム板 t8 EP塗りの  
 天井：塵埃吸し

経年による劣化はみられるも特段の劣化事象は確認できません。

建物床面積	50㎡	建築面積	50㎡
1F	50㎡		
合計	50㎡		15.2坪 (坪数換算)

1階 平面図

## <佐賀県建設技術支援機構による劣化度診断>

# 建物調査報告書

業 務 名 江北町教育施設校舎等劣化調査業務委託(幼児教育センター)

発 注 者 江北町子ども教育課 様

調 査 日 令和 元 年 8 月 2 日

### 調査結果(全体所見)

標記業務について、調査結果を以下に報告致します。

#### ● 調査の対象

①幼稚園舎	RC	造	2	階
②保育園舎	W	造	1	階
③屋外倉庫	W	造	1	階

#### ● 調査の方法等

建物各部の状態および動作等について、目視確認を主に動作確認・打診調査等による。

#### ● 調査の結果

調査結果記録表および調査写真(その他写真含む)を参照

#### ● 建築物調査の所見

①適宜、更新改修工事がなされているようです。特段の劣化事象は見られません。  
(H21屋根全面塗装改修)(H25内外装全面改修)

建設当時は屋外空間だったと思われるピロティにシャッターが設置され、現在は屋内空間として利用されています。火気使用室の排気が直接屋外へ排出できていない可能性が高いようですので、シャッターの常時開放など改善が望まれます。

②外部での主な劣化状況等について、外装サイディング継ぎ目及びサッシ回りシーリングの破断劣化が見られます。シール打替えなどの定期的維持管理が望まれます。

屋外テラス土間部に段差があり、躓き転倒・ケガの恐れがあります。

また内部の劣化状況は、廊下及び保育室のフローリング表層剥がれが見られます。裸足での活動が予想されますのでワックス掛け、板貼替えなどケガ予防の対応が望まれます。

③高床式の倉庫となっており、下部倉庫も外から利用できる構造となっていますが、現況での利用は無いようです。外装材下端の水切りが木製となっており、ほぼ腐食しています。

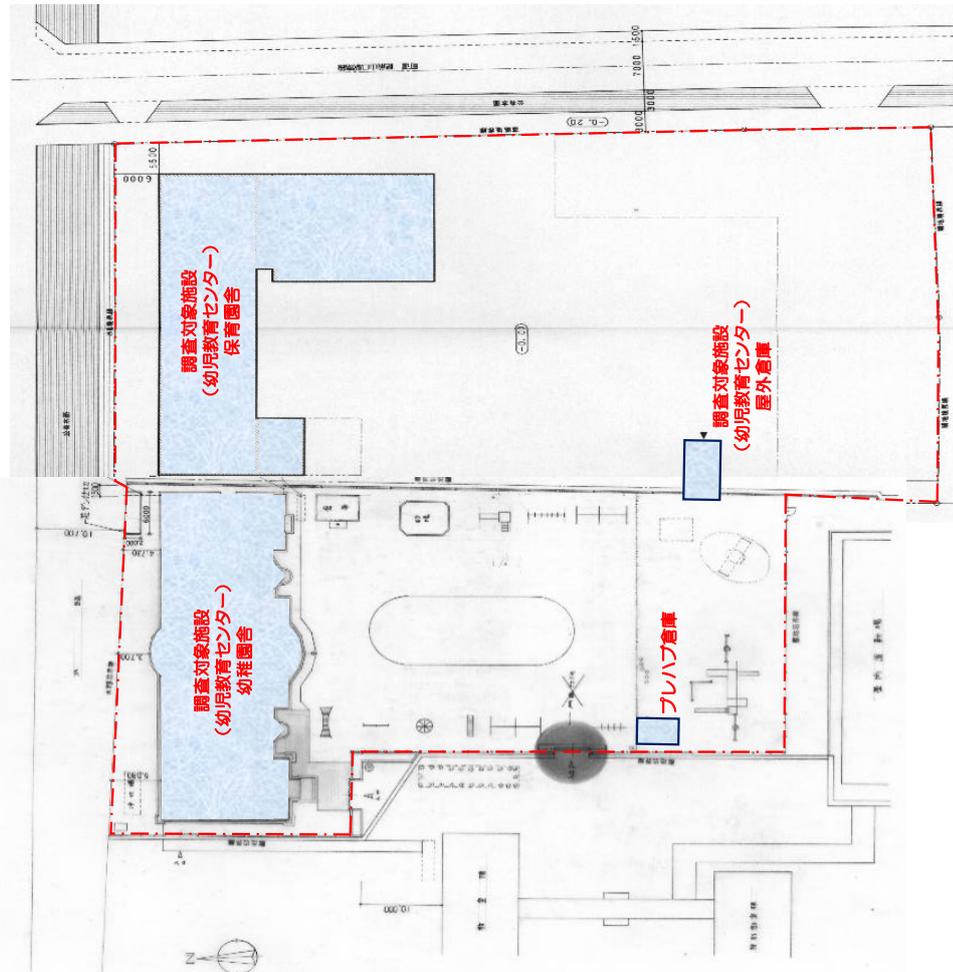
(耐久性のある鋼板製が一般的)鋼製水切りの設置が必要です。

倉庫階段土間(手摺取付下部)にひび割れが発生しています。

内装については特段の劣化事象は見られません。

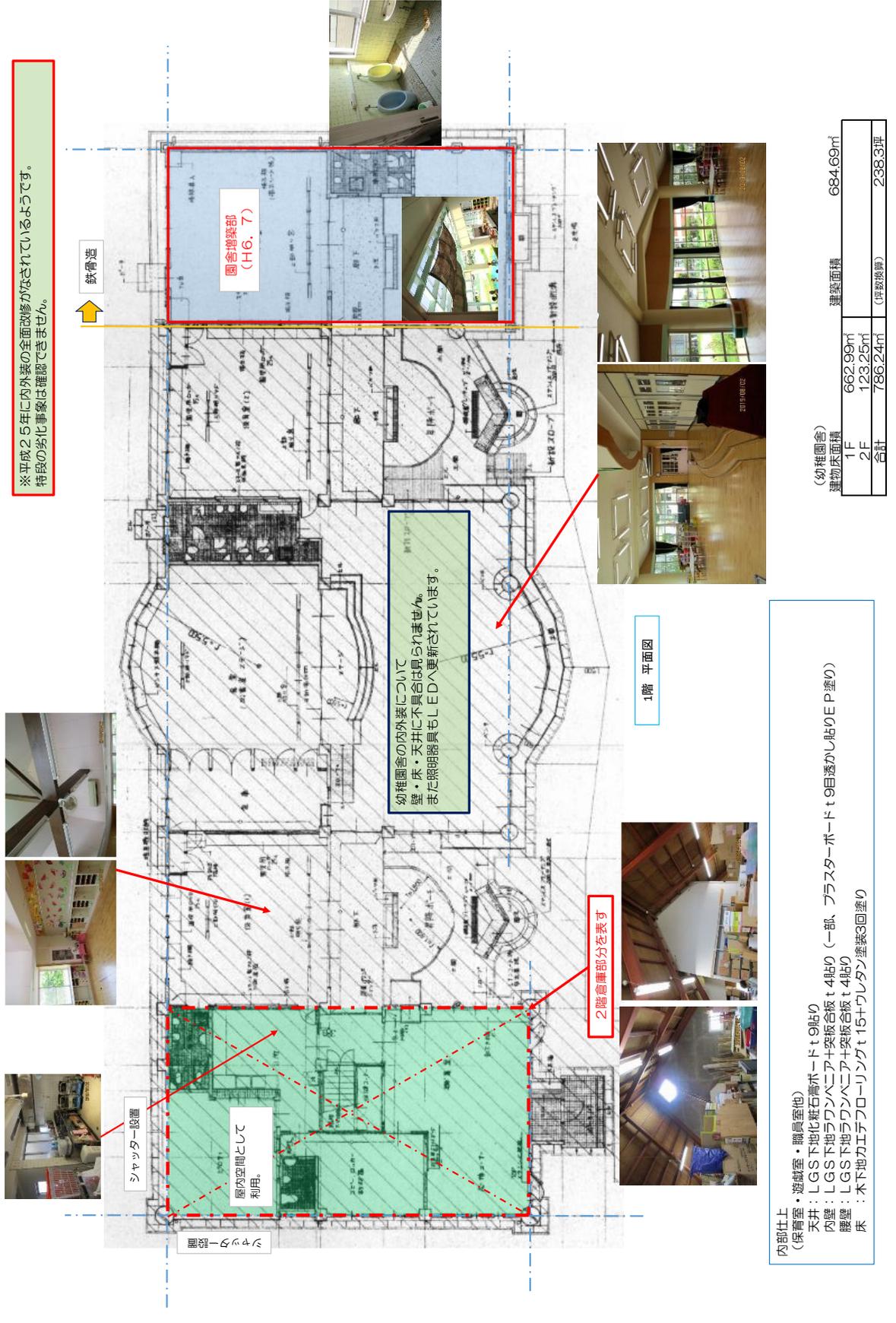
調 査 者 公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構

調査対象 幼児教育センター 資料 No.1 全体配置図



調査対象 幼児教育センター 資料 No.2 幼稚園舎 平面図

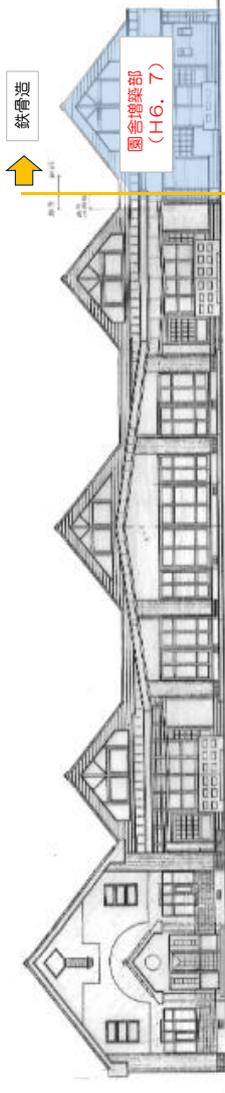
※平成25年に内外装の全面改修がなされているようです。  
特段の劣化事象は確認できません。



調査対象 幼児教育センター 資料 No.3 幼稚園舎 立面図

平成21年：屋根全面塗装改修工事  
平成25年：内外装全面改修工事が行われているようです。

鉄骨造

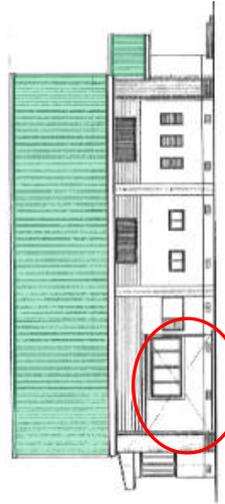


南 立面図

外部仕上

外壁：コンクリート打放し+アクリルリシン吹付け（一部、防火サイディング+アクリルリシン吹付け）  
軒天：ケイ酸カルシウム板 t6目透かし張り E P 葺り  
屋根：コロニアル葺き（一部、フッ素樹脂折板 t0.4）  
建具：アルミサッシ

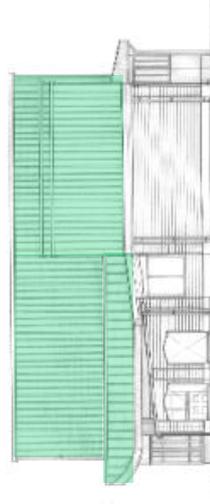
西 立面図



屋内空間（車庫・倉庫）として利用されており、火気使用屋の排気が直接屋外に排出出来ない可能性が高いようです。直接屋外へ排気するかシャッターの常時開放を行うなどの対応が望まれます。



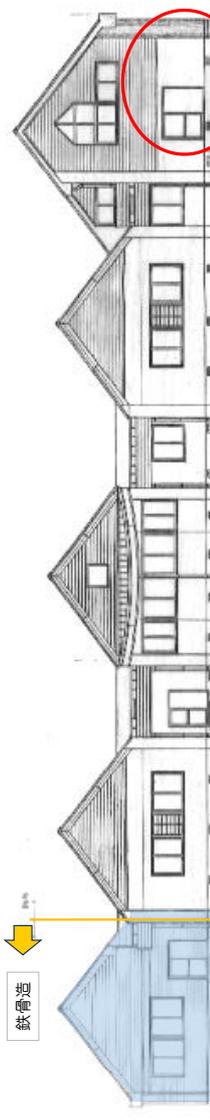
東 立面図



当初はピロティとして屋外空間だったと思われませんが、シャッターが設置され屋内空間（車庫・倉庫）として利用されています。



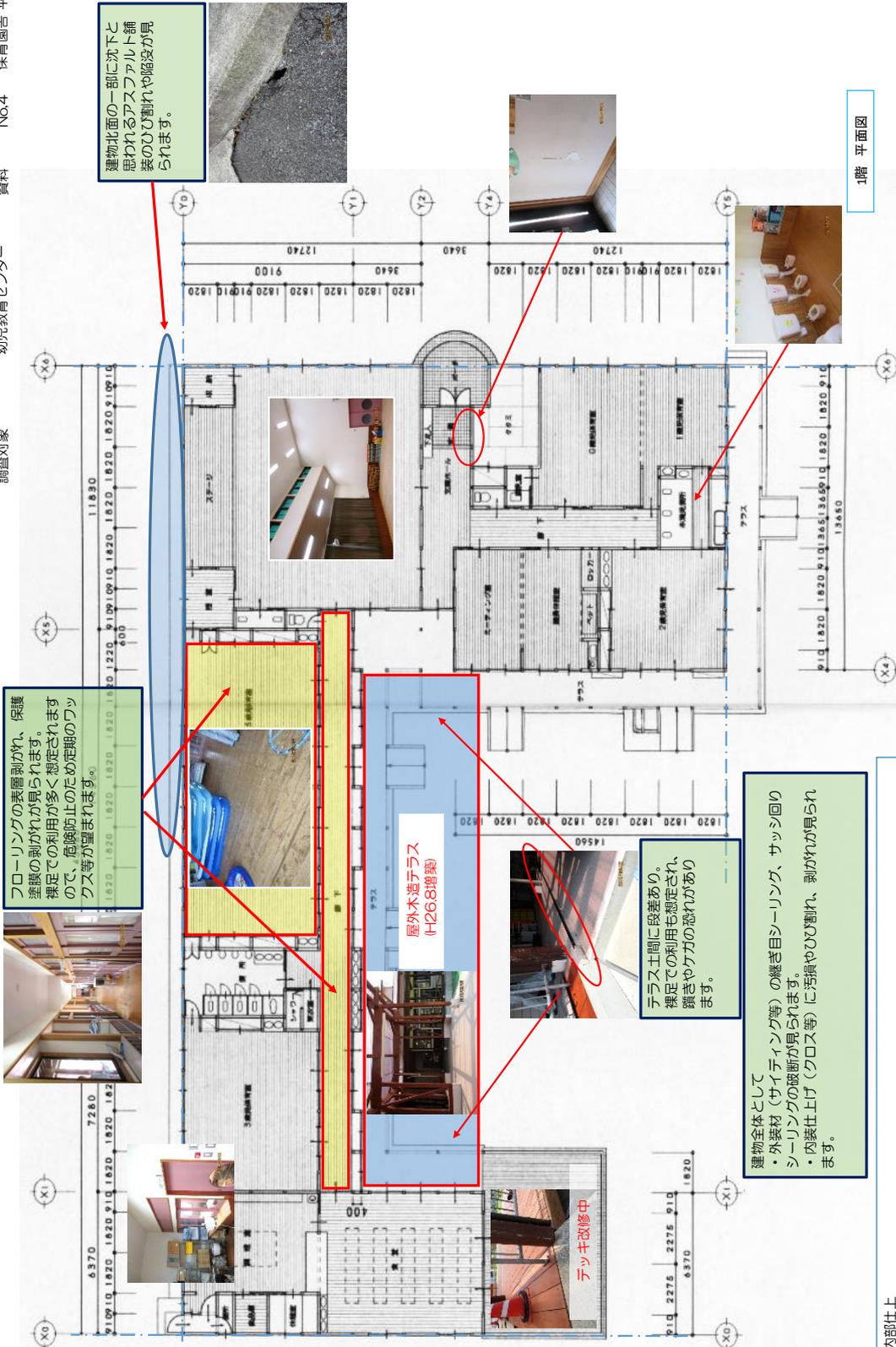
北 立面図



鉄骨造

園舎増築部 (H16. 7)

調査対象 幼児教育センター 資料 No.4 保育園舎 平面図



フローリングの表面剥がれ、保護塗膜の剥がれが見られます。裸足での利用が多く想定されますので、危険防止のため定期的ワックス等が望まれます。

建物北面の一部に剥下と思われるアスファルト舗装のひび割れや陥没が見られます。

屋外木造テラス (H=268増築)

テラス土間に段差あり。裸足での利用も想定され、踏みやケガの恐れがあります。

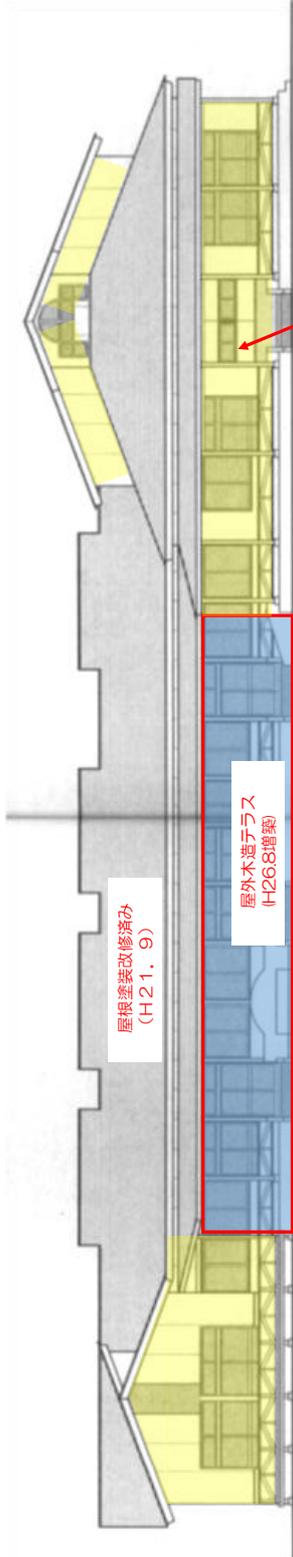
建物全体として  
 ・外装材（サイディング等）の継ぎ目シーリング、サッシ回りのシーリングの破断が見られます。  
 ・内装仕上げ（クロス等）に汚損やひび割れ、剥がれが見られます。

内部仕上 (保育室・遊戯室・職員室他)  
 天井：プラスチックボードt9.5 EP塗りの  
 内壁：プラスチックボードt12.5 ビニールクロス貼りの  
 腰壁：プラスチックボードt12.5 化粧合板t5 (H=800程度)  
 床：ラワン合板t15下地 WPCフローリングt15

1階 平面図

(保育園舎)	建築面積	849.14㎡
1F	724.35㎡	
合計	724.35㎡ (甲数換算)	219.5坪

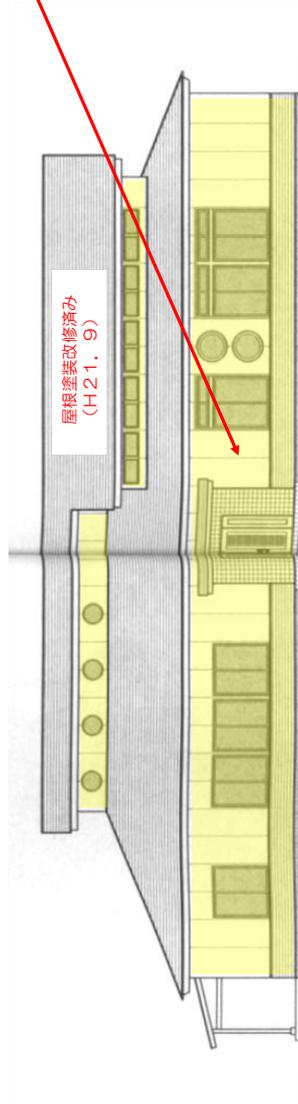
調査対象 幼児教育センター No.5 資料 保育園舎 立面図



南立面図



建物全体として  
・外装材（サイディング等）の継ぎ目シーリング、  
サッシ回りのシーリングの破断が見られます。

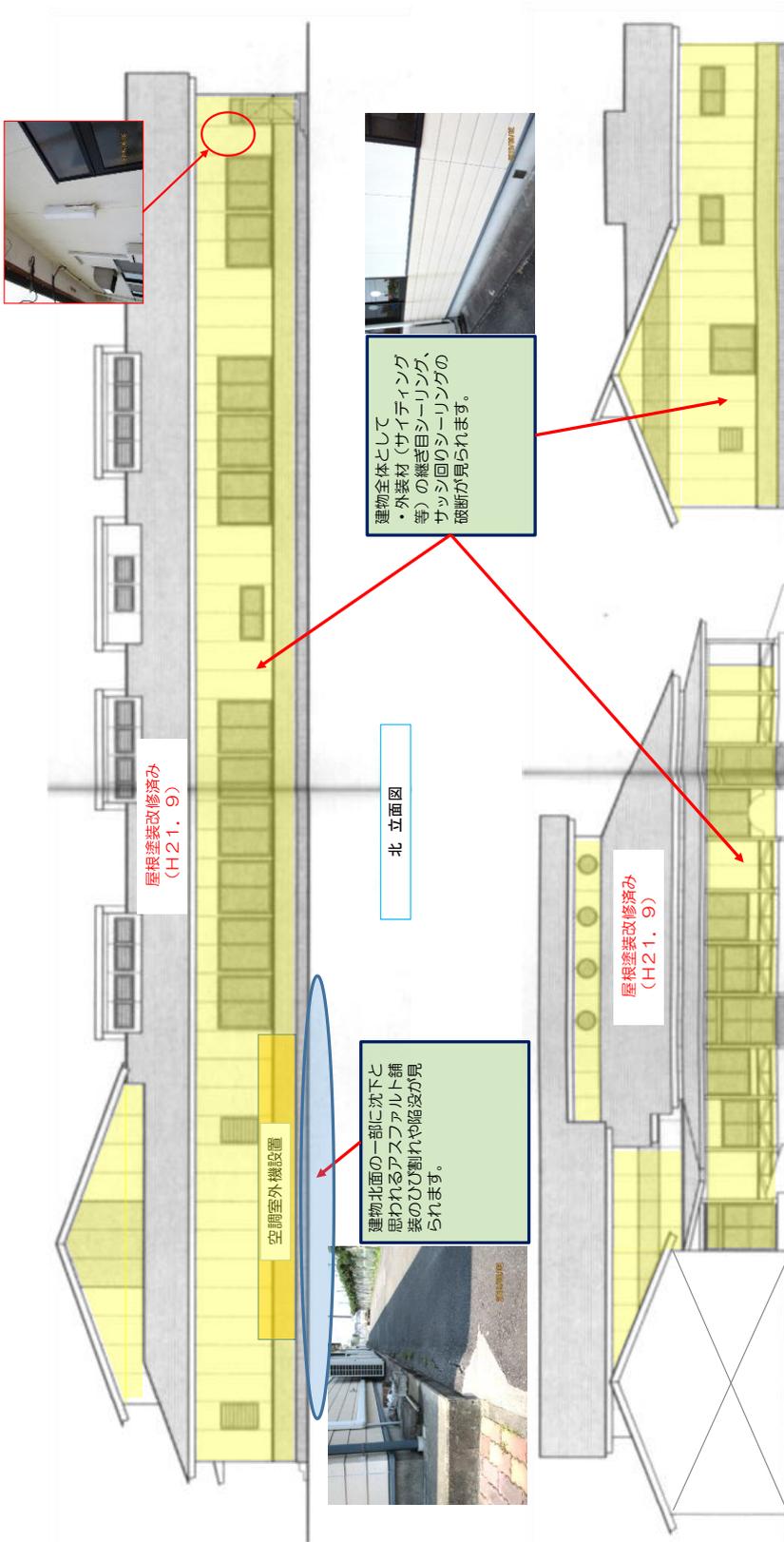


東立面図



外部仕上  
外壁：窯業系サイディング+アクリルリシン吸付け  
軒天：ケイ酸カルシウム板 t8目透かし張り+VP塗り  
屋根：彩色スレート板  
建具：アルミサッシ

調査対象 幼児教育センター No.6 保育園舎 立面図



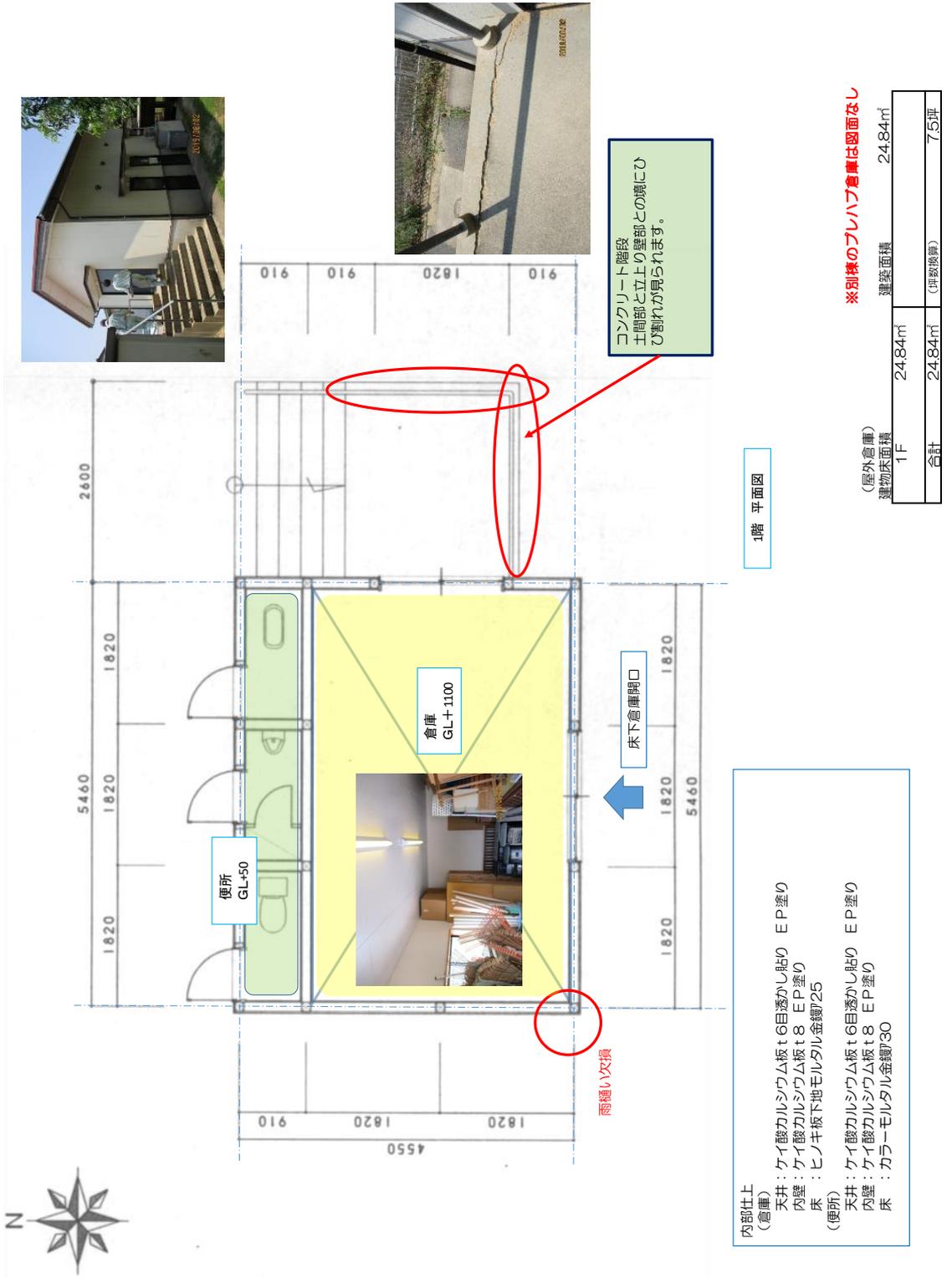
西 立面図



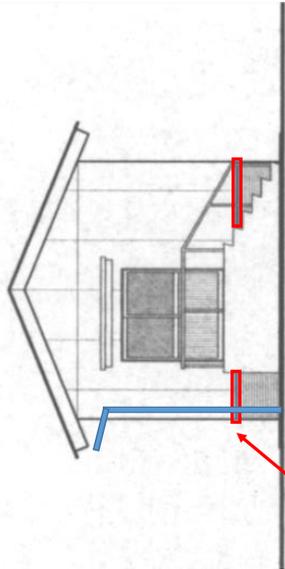
西 立面図(入隅)

外部仕上  
 外壁：窯業系サイディング+アクリルリシン吹付け  
 軒天：ケイ酸カルシウム板 t8目透かし張り+VP塗の  
 屋根：彩色スレート板  
 建具：アルミサッシ

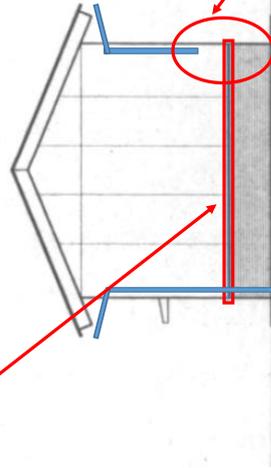
調査対象 幼児教育センター 資料 No.7 屋外倉庫 平面図



調査対象 幼児教育センター 資料 No.8 屋外倉庫 立面図



東 立面図



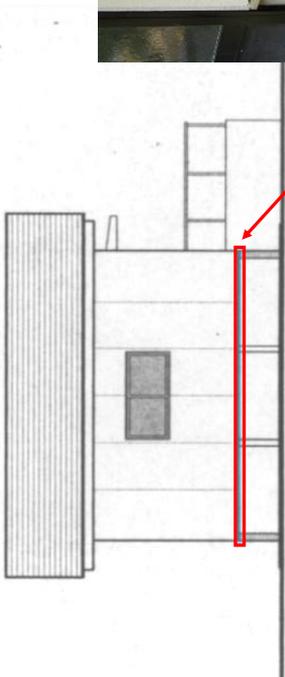
西 立面図



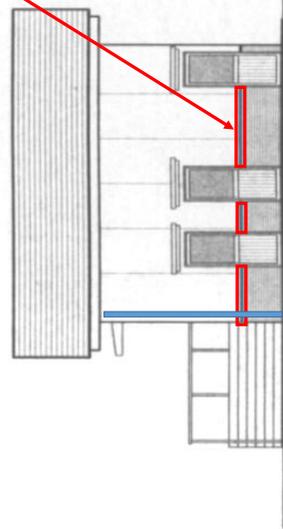
雨樋の破損。  
下部は欠損しています。



外装材（サイディング）下端の木製水切りが腐食劣化しています。  
銅製水切りへの改修が必要です。



南 立面図



北 立面図

外部仕上  
 外壁：窯業系サイディング+アクリルリジン吸付け  
 軒天：ケイ酸カルシウム板 t8目透かし張り+VP塗の  
 屋根：彩色スレート板  
 建具：アルミサッシ

### <佐賀県建設技術支援機構による劣化度診断>

## 建物調査報告書

業 務 名 江北町教育施設校舎等劣化調査業務委託(給食センター)

発 注 者 江北町子ども教育課 様

調 査 日 令和 元 年 8 月 2 日

#### 調査結果(全体所見)

標記業務について、調査結果を以下に報告致します。

- 調査の対象
  - ①給食センター S 造 1 階
- 調査の方法等
 

建物各部の状態および動作等について、目視確認を主に動作確認・打診調査等による。
- 調査の結果
 

調査結果記録表および調査写真(その他写真含む)を参照
- 建築物調査の所見
 

①外部の劣化状況等については、外装板継ぎ目及びサッシ回りシーリングの破断劣化が見られます。また金属サイディング及び屋根折版部に被膜劣化・サビ劣化が見られ、腐食の進行中と思われます。定期のシール打替えや塗装更新等が望まれます。

内部の劣化状況については、事務所部の壁下地合板継ぎ目のひび割れが顕著に見られ、洗濯コーナー部の開口部は建具と枠に相当の隙間が発生しています。隙間対策と思われる目貼りで開閉不可となっており、非常口としての機能が失われています。

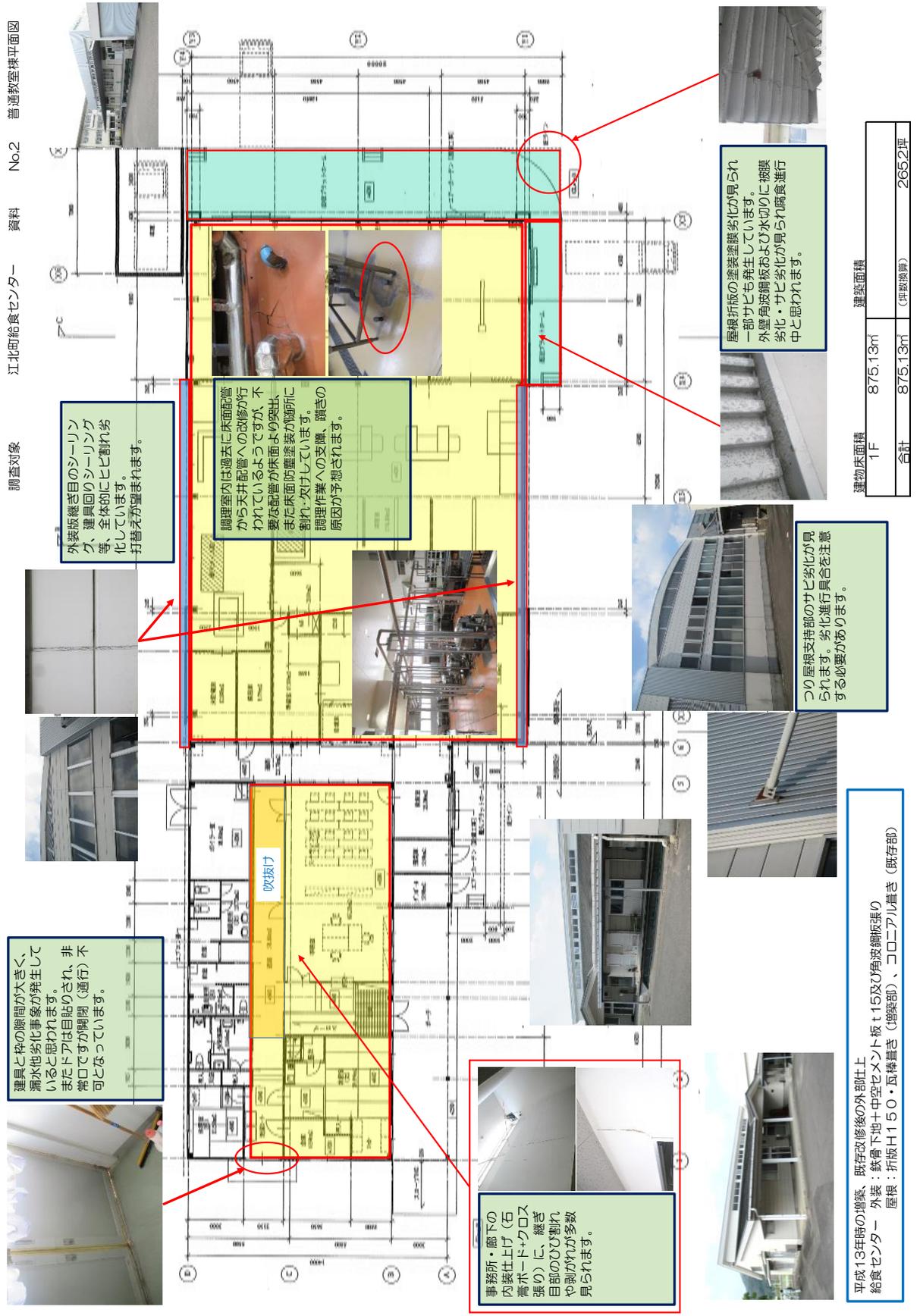
調理室内(H13増築)は給排水設備の改修がなされているようですが、既存配管が床面から突出している箇所が多く、また防塵床塗装の劣化も見られ作業への支障が懸念されます。(床下配管から上空配管へと更新されている為、支持架台も多く作業や通行に支障あり)

調 査 者 公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構

調査対象 江北町給食センター 資料 No.1 全体配置図



調査対象 江北町給食センター No.2 資料 普通教室棟平面図



建具と枠の隙間が大きく、漏水他劣化事象が発生していると認められます。またドアは目貼りがされ、非開口ですが開閉（通行）不可となっております。

外装板継ぎ目のシーリング、建具回りのシーリング等、全体的にヒビ割れ劣化しています。打替えが望まれます。

調理室内は過去に床面配管から支井配管への改修が行われているようですが、不要な配管が床面より突出し、また床面防塵塗装が剥離に割れ、欠けしています。調理作業への支障、踏きの原因が予想されます。

事務所・廊下の内装仕上げ（石膏ボード+クロス張り）に、継ぎ目部のひび割れや剥がれが多数見られます。

屋根折板の塗装剥離劣化が見られ一部サビも発生しています。外壁角波鋼板および水切りに被膜劣化・サビ劣化が見られ腐食進行中と思われます。

つり屋根支持部のサビ劣化が見られます。劣化進行具合を注意する必要があります。

平成13年時の増築、既存改修後の外部仕上給食センター 外装：鉄骨下地+中空メンテ板t15及び角波鋼板張り 屋根：折板H150・瓦葺置き（増築部）、コロニアル置き（既存部）

建物床面積		建築面積	
1F	875.13㎡		
合計	875.13㎡		265.2坪 (坪数換算)

## 4. 学校施設整備の基本的な方針等

### (1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

#### ①学校施設の長寿命化計画の基本方針

<p>公共施設等総合管理計画の基本方針</p>	<p><b>現状や課題に関する基本認識</b></p> <p>公共施設等については、今後、老朽化が急速に進行し、次々に大規模な修繕や建替えの時期を迎えます。一方で、本町を取り巻く社会状況の変化として、少子高齢化と人口減少により、将来の財政状況は厳しくなることが予想されるため、施設の量や質をそのまま維持しようとする、必要性の高い施設まで安全・安心に利用できなくなることが懸念されます。</p> <p>インフラ施設については、町民の日常生活や経済活動における重要なライフラインであり、災害時には重要な基盤施設となることから、老朽化対策や耐震対策など、計画的な整備や修繕・更新等を実施する必要があります。</p> <p>このような問題に対応するためには、個々の施設ごとに町民ニーズや維持管理の方法を考えるのではなく、公共施設等の全体最適化を図った施設マネジメントを推進していく必要があります。また、施設を「資産」として効果的・効率的に有効活用しつつ管理していく視点も必要となります。</p> <p><b>公共施設等の管理に関する基本的な考え方（7項目）</b></p> <p>(1) 点検・診断等の実施方針 定期的な経年劣化の状況等を点検し、不具合箇所の早期発見による機能・性能の維持に努めます。また、必要に応じて専門技術者による診断を実施します。 インフラ施設は、インフラ長寿命化計画（個別施設計画）など、国から示される技術基準等に準拠しつつ、適正に点検・診断等を実施します。</p> <p>(2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針 点検・診断結果を踏まえ、計画的に修繕等を行う「予防保全型管理」へ転換し、維持管理・修繕に係るコスト縮減及び財政支出の平準化を図ります。 更新については、必要な公共施設に限り行うこととし、更新する際は、最も効果的・効率的な手法を検討します。</p> <p>(3) 安全確保の実施方針 点検・診断の結果等により危険性が認められた場合は、利用者の安全確保を最優先するため、立入禁止措置や応急措置等を実施し、修繕等の対策を実施します。 供用廃止となり、今後も利用見込みのない施設については、立ち入りを禁止し、廃止や財源確保の手段として売却、貸付等を検討します。</p> <p>(4) 耐震化の実施方針 「建築物の耐震改修の促進に関する法律」（平成26年法律第54号）に基づき、公共施設の耐震化を実施し、平常時の安全だけでなく、災害時の救援・支援活動の拠点施設としての機能確保に努めます。</p> <p>(5) 長寿命化の実施方針 将来にわたって利用する公共施設等については、点検・診断結果を踏まえ、計画的に修繕等を行う「予防保全型管理」を取り入れ、長寿命化を推進し、ライフサイクルコストの縮減に取り組みます。</p> <p>(6) 統合や廃止の推進方針 町民ニーズや社会情勢の変化により、施設の統合・集約化を実施する場合は、地域間の均衡や利用者の使いやすさ、管理の効率性を考慮します。また、廃止が決定した施設については、早期に解体し、景観の確保、管理費用の削減及び平準化に努めます。</p> <p>(7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための取組体制 総合的かつ計画的な管理を実施していくために、施設の管理状況や利用状況等の一元管理、施策再編時の庁内調整、計画の進行管理等を行います。また、庁内の横断的な調整を行うため、事務局を政策課に設置し、必要な情報の把握や共有に努めます。</p>
-------------------------	--

<p>公共施設等総合管理計画 類型別方針 【学校】</p>	<p><b>現状及び課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 小学校は、昭和54年建築で、平成16年度に耐震診断を実施し、平成20年度に校舎・体育館の耐震補強工事を行っています。</li> <li>➤ 中学校は、昭和60年建築で、耐震性に問題はありません。</li> <li>➤ 小学校・中学校は、耐用年数を超過していませんが、建築から30年以上経過し、設備の老朽化が見られます。</li> <li>➤ 小学校・中学校は、安全確保のため、消防用設備や電気設備、学校遊具等の定期点検（法定点検）を行っています。また、施設警備を委託しています。</li> <li>➤ 小学校・中学校の体育館は、社会体育活動などにも利用されています。また、小学校の空き教室を活用し、「放課後児童クラブ事業」を行っています。</li> <li>➤ 給食センターでは、食の安全確保のため、ボイラー設備の定期点検やネズミ・こん虫駆除を行っています。また、調理業務については、民間事業者へ委託しています。</li> </ul> <p><b>管理に関する方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 建物や設備、遊具等の点検を定期的実施し、予防保全による施設の長寿命化、施設維持に係るトータルコストの縮減・平準化を図ります。</li> <li>➤ 児童・生徒の安全で快適な学習環境の確保するため、教育方法・教育内容等の変化に対応できるよう、施設の計画的な改修・整備を行います。</li> <li>➤ 大規模改修や建替えは、人口推計や今後の町の教育方針を考慮し、需要に見合った施設規模とするよう検討します。</li> <li>➤ 給食センターの調理業務は、引き続き、民間事業者へ委託する方式により行います。</li> </ul>
<p>公共施設等総合管理計画 類型別方針 【子育て支援施設】</p>	<p><b>現状及び課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 幼児教育センター幼稚園は、建築から27年が経過し、設備の老朽化が見られ、一部遊具の修繕や外壁塗装が必要です。</li> <li>➤ 安全確保のため、消防用設備や電気設備、遊具等、ボイラー設備の定期点検、ネズミ・こん虫駆除を行っています。また、施設警備を委託しています。</li> <li>➤ 保育業務は、一部民間事業者へ委託しています。</li> </ul> <p><b>管理に関する方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 建物や設備、遊具等の点検を定期的実施し、予防保全による施設の長寿命化、施設維持に係るトータルコストの縮減・平準化を図ります。</li> <li>➤ 児童の安全で快適な教育・保育環境を確保し、子育て支援の観点から幼稚園・保育園の役割に対応できるよう、施設の計画的な整備を行います。</li> <li>➤ 平成29年4月より、老人福祉センター別館の一部に小規模保育所を設置します。（最大定員19名）</li> </ul>

江北町公共施設等総合管理計画より

②学校施設の規模・配置計画等の方針

- 小中学校・・・小学校は令和3年度から、中学校は令和8年度頃から長寿命化改修を行い、将来的には小中一貫校を視野に整備を検討します。
- 幼児教育センター幼稚園・・・幼保無償化や民間保育所の整備に伴うニーズの変化等を考慮し、施設の改修方法等を検討します。
- 学校給食センター・・・点検結果を踏まえた適正な維持管理を行いながら、少子化による給食需要の減少を踏まえ、近隣市町との共同運営といった広域化等について検討します。

## (2) 改修等の基本的な方針

### ①長寿命化の方針

すべての公共施設等に対して、長寿命化工事を実施すれば、江北町の財政に大きな負担を強いることとなります。これは、将来の人口減少・少子高齢化が予測され、かつ、財政状況がより厳しさを増すことが考えられる中では現実的ではありません。そのため長寿命化工事（大規模修繕工事等）の実施については、従来の耐用年数切れ等による建替えの場合と比較して、ライフサイクルコストの削減を図ります。

また、原則として、各公共施設等は、耐用年数まで安全に使用できるよう、予防保全の考え方を導入し、財政負担の軽減及び平準化を図ります。

### ②目標使用年数、改修周期の設定

区分	目標使用年数	大規模改造の周期
小学校	80年	築20年／40年／60年
中学校		
給食センター		
幼児教育センター 幼稚園		

## 5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

### (1) 改修等の整備水準

改修ごとの整備水準は、イニシャルコストではなくライフサイクルコストを重視した改修を行っていくこととします。また、コストに配慮しながら環境性能や利用者快適性を高めるとともに「学校施設バリアフリー化推進指針（文部科学省）」に沿った整備に努めるものとします。

改修の整備内容は実施時期によって異なるため、実施時期に応じて大規模改修を実施し、予防保全的な施設整備により築 80 年までの長寿命化を実現します。

### (2) 維持管理の項目・手法等

#### ① 点検・診断等

施設の点検・診断にあたっては、原則、全施設を対象に、定期的を目視等による劣化診断を実施し、施設等の利用状況、経年による劣化状況、外的負荷（気候天候、使用特性等）による性能的状況及び管理状況を把握します。

点検には、職員自ら実施する日常点検と本計画の定期的な見直しに合わせて行う定期点検等があります。定期点検等は、専門家に依頼する場合があります。委託契約により実施している保守・点検・整備が委託契約どおりに実施されているかどうか、委託先から確実に報告を受け、実態を把握します。

#### ② 安全管理

公共施設における安全確保は、利用者や施設周辺の住民等の安全を確保し、資産や情報の保全を目的としたものです。点検・診断等により、高度な危険性が認められた公共施設等または老朽化等により供用廃止され、今後とも利用見込みのない公共施設等に対しては、本計画や公共施設等総合管理計画に基づき、スピード感をもって、修繕等の安全対策や除却等を推進していきます。また、除却等に際しては、地方債の特例措置をはじめとする国の地方財政措置を有効的に活用します。

## 6. 長寿命化の実施計画

### (1) 改修等の優先順位付けと実施計画

公共施設で提供される行政サービスが、国の制度等で定められており行政が実施しなければならないものか（義務的視点）、民間でも実施可能であるか（市場的視点）、町の上位計画で位置づけた将来都市像の実現や重点目標の達成に資する取組・事業であるか（政策的視点）などにより仕分けを行い、施設整備の優先順位を定めます。

また、優先すべき工事の決定については、建物性能、利用状況及び管理運営コストなどの要素並びに施設保有の見直し状況等の観点から総合的に判断し、各施設所管課による劣化診断（目視点検等）を実施することにより、日々最新の情報を管理していきます。

なお、現状で既に安全性が損なわれている建物や大きな機能低下が発生している建物については、設定した改修周期に到達していない場合であっても優先的に改修を実施します。

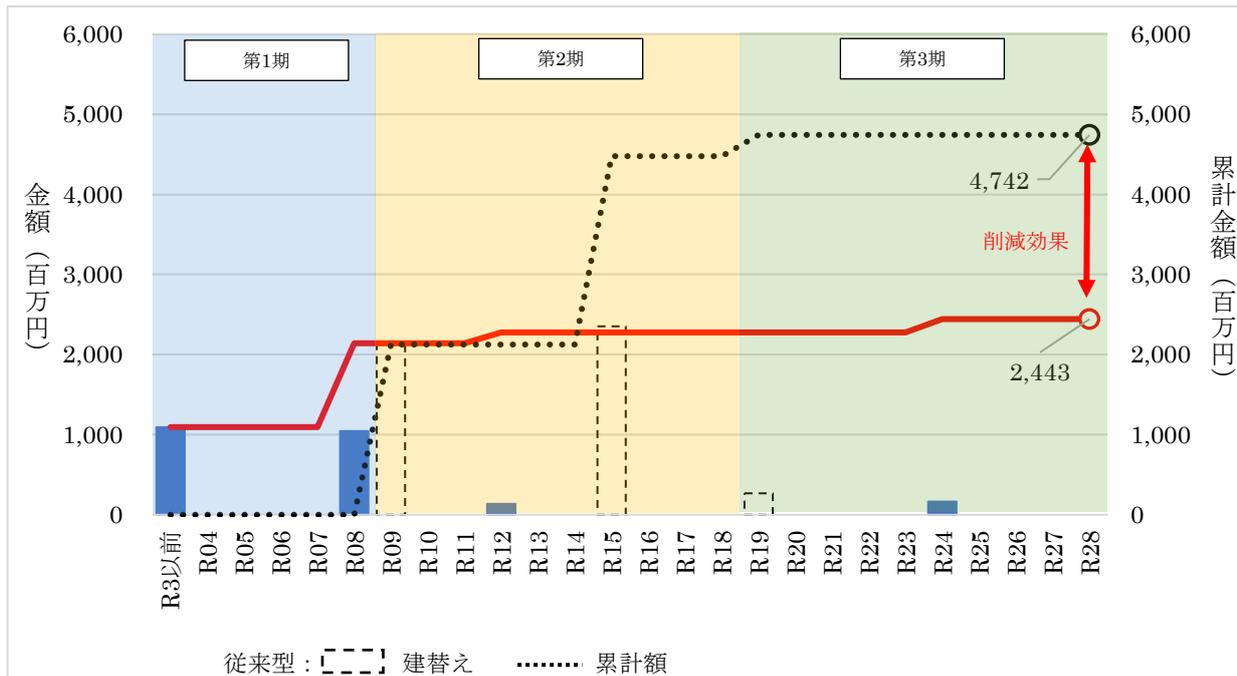
#### 優先順位検討の際に必要な視点（例）

視点	優先順位を高める主な要因
物理的 観点	放置しておく利用者へ直接・間接の物理的被害や大きな施設の減失が予見されるもの 例) 外装材落下の危険性、消防設備の不備等
	敷地周辺に悪影響（騒音・振動・著しい美観の喪失等）を与えており、解消が求められるもの 例) 空調外部機器の劣化による騒音
	改修により長寿命化が明らかに見込まれるもの 例) 屋根防水の改修、外壁のひび割れ補修、外壁塗装、建具廻りの防水及び鉄骨の塗装などの躯体の構造的強度低下を防ぐために行う改修
機能的 観点	設置当初の本来の要求事項が満たせなくなっており、解消が求められるもの 例) 建具不良による立ち入り不可能な室、設備機器の故障による機能の支障等  災害発生時を想定し健全な状態を特に維持しておくことが必要と判断されるもの
経済的 観点	予防保全により、将来のライフサイクルコストの低減が見込まれる状況にあるもの 例) 鉄筋の露出などがあり、放っておくと大きな機能低下が起こり大規模な改修が必要となることが予見されるもの
社会的 観点	住民ニーズの変化により新規整備、増改築又は用途転用が必要なもの  少子高齢化等に伴い利用者の安全性・利便性を確保するための改修が必要なもの 例) スロープの設置、段差の解消、エレベーターの設置など  環境負荷低減に貢献するもの 例) LED 電灯への交換、負荷の少ない熱源機器への交換など

(2) 長寿命化コストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

① 中長期計画 ※本中長期計画は、下記②の江北小学校改修事業計画を反映したものではありません。

従来型(※1)の整備方針から改修による長寿命化に切り替えていくため、計画的な機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめていく長寿命化型(※2)によるコストを試算しました。長寿命化により建物を使用した場合、今後30年間の累計金額は2,443百万円(94百万円/年)となり、これは従来型の場合の4,742百万円(182百万円/年)から2,299百万円の削減効果が見込めることとなります。



- ※1 従来型とは、各施設の耐用年数到来時に同規模施設を整備することを前提。
- ※2 長寿命化型とは、大規模改修年度(建築後、木造25年・木造以外40年)に延床面積に大規模改修単価を乗じた金額で整備し、目標使用年数到来時(建築後、木造50年・木造以外80年)に延床面積に更新単価を乗じた金額で整備することを前提。
- ※3 単価は、「自治総合センター 地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」記載の設定単価を採用。

【更新単価(1㎡あたり)】

用途(大分類)	大規模改修	建替え(更新)
行政系施設	250千円	400千円
学校教育系施設	170千円	330千円
社会教育系施設	250千円	400千円
保健・福祉施設	200千円	360千円
子育て支援施設	170千円	330千円
スポーツ・レクリエーション系施設	200千円	360千円
町営住宅	170千円	280千円
産業系施設	250千円	400千円
公園	170千円	330千円
その他	200千円	360千円

※ 例：施設更新費用＝更新単価×施設面積(更新時面積)

## ② 江北小学校改修事業計画

事業内容 \ 年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受水槽設備改修	工 事			
トイレ改修	設 計	工 事		
外壁・屋根防水改修	設 計	工 事		
給排水設備関連改修	設 計	工 事		
受電設備改修	設 計	工 事		
プール層内改修		設 計	工 事	
内装改修（放送室前・パソコン室等改修）		設 計	工 事	
屋内運動場照明交換			工 事	
内装改修（靴箱・収納棚等）			設 計	工 事

※事業内容の精査及び財政状況で変更する場合があります。

## 7. 長寿命化計画の継続的運用方針

### (1) 情報基盤の整備と活用

公共施設等総合管理計画と連動して、施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営費、改修・補修等の工事履歴や劣化情報等の一元管理を行っていきます。

### (2) 推進体制等の整備

施設所管課を中心に、本計画を含む施設マネジメントを行っていきます。

また、庁内推進体制として既存の庁内会議と施設所管課の連携を意識し、効果的な体制整備を推進していきます。

### (3) フォローアップ

本計画は、施設の改修や建替の優先順位を設定するものです。今後は、詳細な個別年次計画や事業費を精査していくために、事業の進捗状況、劣化調査等の結果を反映しながら、定期的な見直しを実施し推進することとします。

---

江北町 個別施設計画

学校教育系施設 編

令和3年3月 発行

江北町公共施設マネジメント推進委員会

〒849-0592 佐賀県杵島郡江北町大字山口 1651 番地 1

TEL : 0952-86-2111 (代表) FAX : 0952-86-2130

URL : <https://www.town.kouhoku.saga.jp>

---